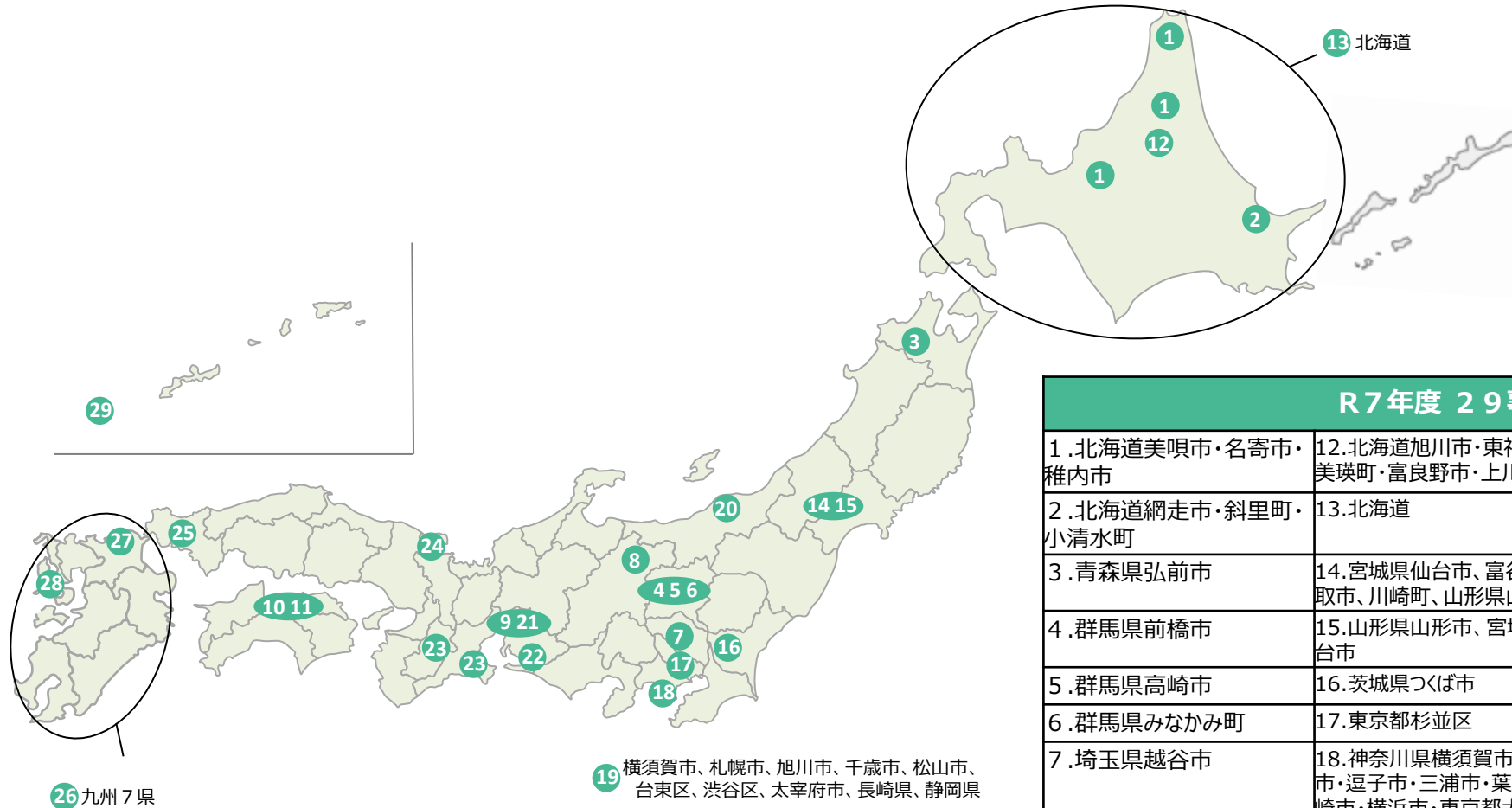


令和7年度 日本版MaaS推進・支援事業29事業について

令和7年度の選定地域一覧

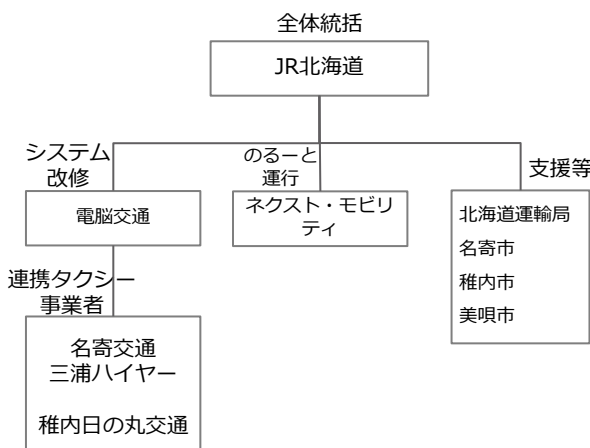


R7年度 29事業		
1. 北海道美唄市・名寄市・稚内市	12. 北海道旭川市・東神楽町・美瑛町・富良野市・上川町	23. 三重県伊勢市、鳥羽市、志摩市、奈良県吉野町
2. 北海道網走市・斜里町・小清水町	13. 北海道	24. 京都府京丹後市
3. 青森県弘前市	14. 宮城県仙台市、富谷市、名取市、川崎町、山形県山形市	25. 山口県山口市
4. 群馬県前橋市	15. 山形県山形市、宮城県仙台市	26. 九州7県
5. 群馬県高崎市	16. 茨城県つくば市	27. 福岡県宗像市
6. 群馬県みなかみ町	17. 東京都杉並区	28. 長崎県長崎市
7. 埼玉県越谷市	18. 神奈川県横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町・川崎市・横浜市・東京都大田区	29. 沖縄県石垣市・竹富町
8. 長野県飯山市	19. 横須賀市、札幌市、旭川市、千歳市、松山市、台東区、渋谷区、太宰府市、長崎県、静岡県	
9. 愛知県春日井市	20. 新潟県	
10. 香川県	21. 愛知県名古屋	
11. 香川県・愛媛県	22. 愛知県豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村	

※「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」及び「観光二次交通高度化事業」により実施。

各事業の取組概要

※公募申請時の資料のため、今後、変更の可能性があります。

課題	<ul style="list-style-type: none"> バス、タクシー等の二次交通は、地元住民の日常利用向けとしては一定程度供給されてはいるが限られたリソースで運営しており、来訪者が突然やってきても駅で移動手段の確保に困る場合がある。 	
プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道利用者が可能な限りスムーズに二次交通への乗継が出来るよう鉄道施設の一部にQRコードを貼付し、二次交通の事前予約サービス実施 QRコード貼付先は、「261系0番台特急列車の座席テーブル」、及び「美唄駅、名寄駅の駅舎内ポスター」 告知内容は「二次交通の予約サイトへ接続するQRコード、操作方法」 特急列車座席テーブルから電腦交通のタクシー配車予約案内 駅舎内ポスターから、各市内を走るAIデマンドバスの予約案内 <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次交通のシステムから予約日時、目的地、配車のマッチング結果等のデータを収集。来訪者に対する交通空白の解消に繋がったか自治体と共に検証。 <p>[地域交通政策等との連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> 宗谷線沿線で電腦交通の仕組みを導入しているタクシー会社は4社(名寄市が2社、稚内市が1社)。またAIデマンドバスは美唄市、名寄市が運行主体。 3市の地域公共交通計画にはICTなど活用したシームレスな二次交通の実現を取組事項としており、本件はその考えに合致していることを自治体とも確認済。 	<p>事業エリア / 交通事業</p> <p>事業エリア: 美唄市、名寄市、稚内市(美唄駅、名寄駅、稚内駅)</p> <ul style="list-style-type: none"> JR北海道/電腦交通、及び電腦交通の予約システム導入済ハイヤー会社3社/ネクスト・モビリティ社(のるーと美唄、のるーと名寄) タクジット連携: 配車駅名寄駅、稚内駅/AIオンデマンドバス連携駅: 名寄駅、美唄駅 <p>MaaS アプリ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 電腦交通のタクジット のるーとアプリ他 <p>データの活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> データの取得方法 月初に前月分のデータを電腦交通様、ネクスト・モビリティ社様より提供いただく。 データの活用方法 配車NGになった要因をもとに、いつまでに予約することが望ましいか検証 予約実績から費用対効果や改善点など考察
効果	<ul style="list-style-type: none"> 1次交通から2次交通へのスムーズな乗継が可能になり、公共交通機関の利用促進、及び利用満足度の向上に寄与。 	<p>座組</p> 
事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> JR四国で前例があるので事業に新規性はないが、道内では初の事例 	<p>スケジュール</p> <p>3~4月 申請~交付決定</p> <p>5~6月 電腦交通でシステム設定 告知物制作、貼付け</p> <p>7~12月 実証期間</p> <p>1月~ 効果検証、今後の方向性検討 ステッカー撤去</p> <p>2月下旬~ 精算</p> <p>※交付決定に時間を要した場合は、観光シーズンから外れるリスクもある。 ※実証期間は準備の状況で見直すこともあり</p>

課題

- 各公共交通事業者の経営資源は限られており、地元住民の需要を優先的に充当せざるを得ない状況。そのため、レンタカーを使わない来訪者の周遊観光需要を個社で応えることは困難となっている。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 網走バス、斜里バス、こしタク*、JR釧網本線の4つの交通事業者が連携し、交通結節点を活かし公共交通ネットワークの充実を図る。*:R6年度、小清水町が実証運行したライドシェア
- デジタルツールを活用し1次交通の車内から2次交通(地域公共交通、デマンド交通)の予約・乗車券の購入を可能にする。
- 女満別空港までのデマンド交通の延伸と高付加価値化サービスの提供

[モビリティ・データの取得と活用]

- ODデータやアクセスログ等から旅マエプロモーションの効率化や人気周遊ルートの分析。
- ライドシェアからの乗継実績等を基に、自治体との地域公共交通の再構築検討に活用。

[地域交通政策等との連携]

- 網走バスのオンデマンドバスや小清水線、市内線、斜里バス知床線、JR釧網本線が連携した電子チケットの造成
- 上記に追加で、女満別空港までのエアポートライナーもセットにした電子チケットも設定予定・こしタクと網走バスのデマンド交通の乗り継ぎプランを新設。
- 各市町の飲食店・観光施設の入場券等をセットにした電子チケットを造成し、目的地との連携を図ると同時に、購入者限定のクーポン等で地域内の観光消費を促す。
- 当計画は、網走市、小清水町、斜里町が策定している各地域公共交通計画と方向性は合致しており、3自治体と連携して進めていく。

効果

- 各交通事業者のリソース不足を補完しながら、広域でのモビリティサービスが提供できる。
- 公共交通事業者が連携して、オホーツク、知床エリアまでレンタカーに頼らない周遊観光が可能になる。

事業の新規性

※継続事業

- R6年度は網走、小清水エリアで網走バスとJRだけでスタート。今回は斜里バス、こしタクも参画。「鉄道、乗合バス、デマンドバス、ライドシェア」と多様な交通モードが名実ともに繋がった事例となる。
- 女満別空港から観光地へ直接アクセスする交通網造成と荷物の配送サービスを検討し、利便性向上を図る。
- 道の駅はなやか小清水(JR浜小清水駅併設)の特長を活かし、交通結節点としてライドシェア&デマンドバス(JR)とのスムーズな乗継を実現させるフィジカル連携にも取り組む。

事業エリア/交通事業

- 事業エリア:網走市、斜里町、小清水町(女満別空港～網走～小清水～知床斜里～ウトロ)
- バス:網走バス、斜里バス(エアポートライナー及び一部の路線バス運行区間)
 - デマンド交通:網走バス(女満別空港～網走～道の駅はなやか小清水)/こしタク(道の駅はなやか小清水～小清水町内)
 - 鉄道:JR釧網本線(網走駅～知床斜里駅)

MaaSアプリ等

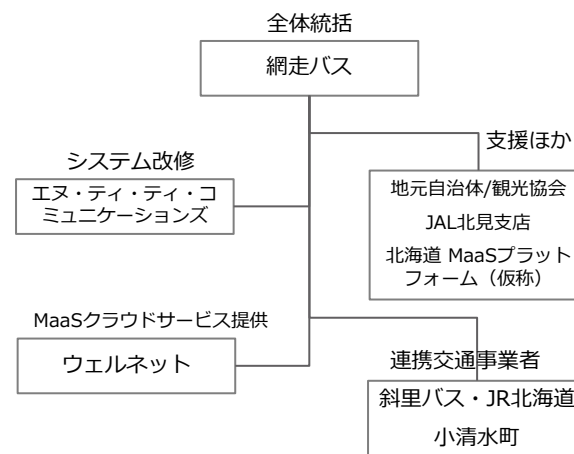
- NTTドコモのAI運行バス
- ウェルネットのMaaSクラウドサービス、アルタイルトリプルスターで電子チケット作成

データの活用等

- データの取得方法:専用サイト(LP)へGoogleAnalytics等組み込む。/電子チケットから利用者属性を把握し、利用時間、位置情報を取得可能とすることでODデータを生成。
- データの活用方法: 日時、区間、人員等の利用データから網走バスのデマンド交通の学習や最適な車両台数など検証。/利用者が少ないが同一区間を複数交通事業者が運行したり、繁閑の差が激しい区間における最適な運行計画など。

座組

スケジュール



3～4月 申請～交付決定

5～7月 準備

7月下旬～9月 実証運行

10～11月 効果検証

12月下旬～ 事業報告、精算

※時期は変更する場合あり。こしタクの運行時期と調整するため

課題

- 交通分担率が約7割と過度なマイカー依存により、公共交通の維持が困難
- 冬期間の通勤・通学送迎が状態化し、朝夕の慢性的な交通渋滞と地域の経済損失を招いている。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- エリア内の鉄道及び路線バス、乗り合いタクシーを含めた定額利用が可能なMaaSアプリ(ブラウザベース)を導入する
- 経路検索機能を付与するとともに対象の交通機関の乗降時、QRコード読み取りとスマートフォンの位置情報からスマートな利用者の乗降とODデータの収集を実現

[モビリティ・データの取得と活用]

- 乗降時、QRコード読み取りとスマートフォンの位置情報から自動的にODデータを取得する。
- ODデータとGTFSを活用し、路線ごとの利用状況を可視化し、効率的且つ機能的な経路や運行回数、代替交通を検討するためのデータとして活用する。
- MaaSアプリ内のデジタル地域通貨基盤を利用した消費・購買データを活用し、行動変容と経済循環による更なる地域活性化の検討

[地域交通政策等との連携]

- 弘前市地域公共交通計画(R6～R10)では、弘前市に相応しい、質の高い公共交通サービスの提供を方針に掲げており、MaaSアプリから取得したODデータや利用者情報を活用し、適正な運行本数やバス停位置、路線再編に活用する。

効果

- 定額乗り放題サービス利用者数の増加 (R6:81名[2か月] → R7:800名[4か月]) ※月別累計
- 定額乗り放題サービス利用前後の公共交通利用頻度の増加(R6:59% → R7:80%)
- 定額乗り放題サービス(MaaSアプリ)利用満足度の向上 (R6:59% → R7:80%)
- 定額乗り放題サービス利用者のご家族の送迎負担の軽減割合の増加(R6:78% → R7:85%)

事業の新規性

- 東北管内において、異なる交通モードを合わせて定額利用が可能なサービス提供がなく、本事業によりマルチモーダルかつ料金を気にすることなくシームレスな移動体験が可能なMaaS基盤を導入
- MaaS基盤は、デジタル地域通貨機能を具備しているため、移動体験と合わせて購買消費による地域経済の活性化を図る

事業エリア/交通事業

弘前市内を運行する、以下の公共交通事業者
バス:弘南バス 鉄道:弘南鉄道 乗り合いタクシー:北星交通
※この他、レンタサイクル事業者等を検討

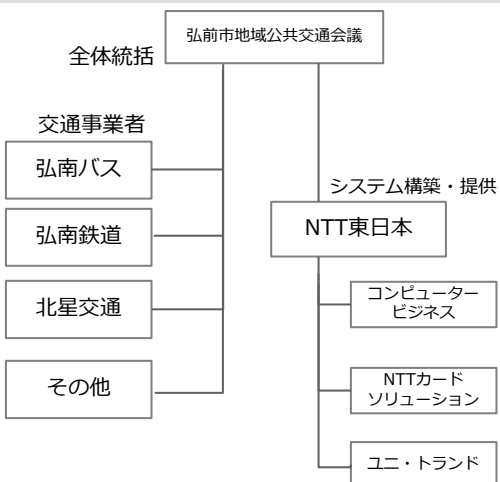
MaaSアプリ等

- MaaSアプリ:コンピュータービジネスNextPass ● ダッシュボードシステム:Tableau (決済API連携開発)
- オンライン販売・決済システム:NTTカードソリューション(API利用)
- 公共交通データ:GTFS-JP

データの活用等

- データの取得方法:MaaS基盤内のMaaS機能からODデータ、デジタル地域通貨機能から購買消費データを取得
- データの活用方法:ODデータから最適な交通ネットワークの検討および、移動・購買消費データの分析により、行動変容と経済循環を促す施策の検討に活用

座組

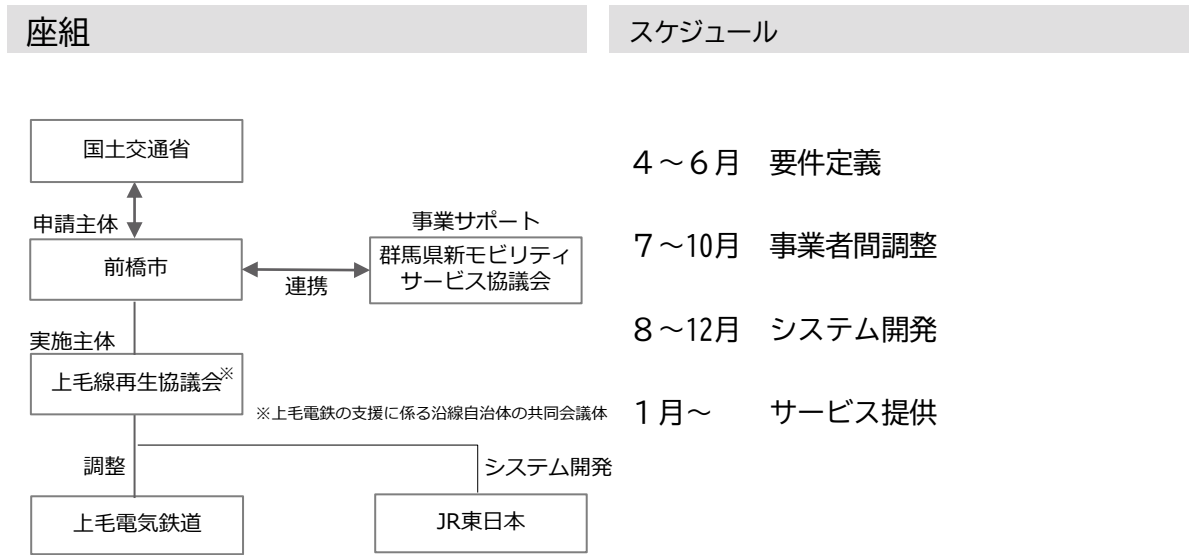


スケジュール

スケジュール	要件定義
4月	要件定義
6～10月	決済システム開発
11～2月	実証
1～2月	効果測定
令和8年度	対象期間・エリア拡大
令和9年度	実装

課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民の重要な交通の足である上毛電気鉄道について、原則紙チケットの利用になっているため、ODデータが取得できず、行動分析ができない ● 行動分析ができないため、交通計画等で適切な計画を立てるのが困難
プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● GunMaaSを活用し、上毛電気鉄道でのデジタルチケットサービスを構築する。具体的には、上毛電気鉄道の車両等に交通系ICユニットを搭載し、交通系ICカードでの決済・認証サービスを実現できる。ODデータ及び属性情報の取得が可能となるため、IC企画券の造成や割引属性の対象等を検討する上でのデータを取得できる。 ● 交通系ICユニットは地域連携バスユニットを採用することで、自動改札機と比べて安価な仕組みでサービスを実装する。 <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上毛電気鉄道の交通系IC認証実績をID-PORTに蓄積する機能を構築する。当該実績を踏まえ、今後の割引率等、サービス内容のブラッシュアップを検討する。さらに、持続可能な公共交通社会の構築に向け、例えば特定居住地や年齢に応じた運賃の助成割引など、鉄道利用の活性化についても検討する。 <p>[地域交通政策等との連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上毛電気鉄道のODデータを分析し、結果を交通計画の評価に生かすことを検討する。 ● 真に助成を必要とする市民に交通助成サービスを楽しむ仕組みを構築し、公共交通利用機会の創出を図ると同時に、手法をデジタル化することで事務負担軽減とデータ取得環境構築を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 上毛電気鉄道で紙チケットを購入する必要がなくなるため、利用者の利便性が高まる。 ● 交通の利用実績が見える化されるため、将来の効果的な交通再編に寄与できる。 ● 割引施策遂行にかかる事務負担が軽減され、時間効率が向上する。
事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域連携バスユニットを鉄道車両に設置した事例は他にないため、新規性が高い。 ■ 地域の路線バスにも地域連携バスユニットが導入されているため、将来的に鉄道とバスが一体となったサービスの構築も検討可能と考えている。

事業エリア/交通事業	事業エリア:前橋市 鉄道:上毛電気鉄道
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSプラットフォーム:モビリティ・リンケージ・プラットフォーム(JR東日本のプラットフォーム) ● フロントエンド:GunMaaSWebを改修 ● マイナンバーカード認証:mytap(TOPICが運営する本人認証アプリ) ● 経路検索機能:mixway API(ヴァル研究所の経路検索API) ● ダッシュボードシステム:Google Looker Studio
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法:GunMaaS会員の交通系ICカード認証によるODデータ取得(認証端末からID-PORTへODデータ通知) ■ データの活用方法:ODデータをLooker Studio上で可視化し、今後の交通計画に活用



課題

- 高齢者等の路線バスでの移動にかかる経済的負担と高い助成ハードル
- 利用者、事業者、行政の割引施策遂行にかかる事務負担

- 路線バスの利用者減や減便

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 群馬県版MaaS(GunMaaS)を活用し、マイナンバーカード情報に基づいた路線バスでの高齢者割引、またバス及びタクシーでの交通助成ポイント(高崎市版GunMaaSポイント)を利用可能とするサービスを実装する。
- バスロケを導入し、バスの位置情報の案内を可能とする

[モビリティ・データの取得と活用]

- エリア内のバス事業者から共通IDが付与された利用実績(ODデータ)を取得する。
- 7市町村による合併により、市域も拡大になっていることから、当該実績を踏まえ、地域ごとの利用状況を分析し、年齢による割引率の検討や地域ごとの新たなサービスの検討など、持続可能な公共交通の構築に向け活用する。

[地域交通政策等との連携]

- 立地適正化計画において、地域間の公共交通の最適化と都市機能や居住を誘導する地域を定めている。ODデータの分析結果からバスのルートの再編・最適化、新しい交通サービスの提供など公共交通の再編に活用するとともに、福祉助成対象者等のデータを分析することで、都市機能や居住の誘導に活用する。

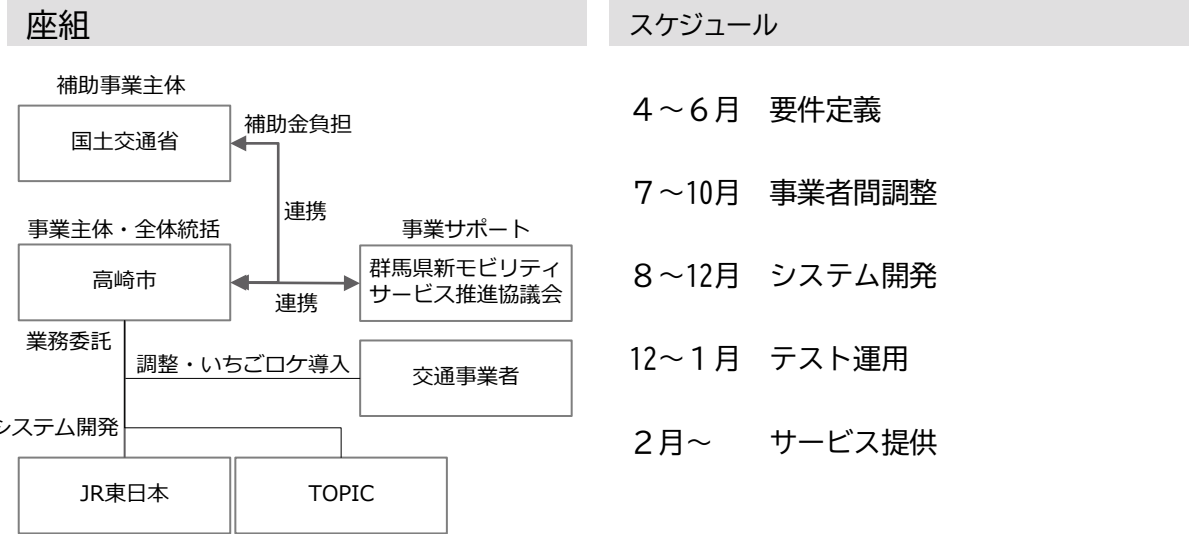
効果

- 高齢者等による公共交通を利用する回数の増加
- 路線バスでの交通系ICカード認証基盤の構築等により、将来の交通再編への参考となる利用データの収集が可能
- 割引施策遂行にかかる事務負担が軽減され、時間効率が向上する。

事業の新規性

■ 高崎市エリアでは、様々な交通モードを統合したGunMaaSアプリが提供され一部利用されているが、高崎市の行政施策として活用はできていない。今回、マイナンバーカードと交通系ICを連携することにより、簡易なUXによる属性に応じた割引サービスを実現する。また対象者へのGunMaaSポイント付与やスマートフォン端末を活用したGunMaaSポイントの認証/利用は初の試みである。

事業エリア/交通事業	事業エリア:高崎市/鉄道:JR東日本、上信電鉄 バス:群馬バス、関越交通、群馬中央バス、上信観光バス、上信ハイヤー、永井運輸、日本中央バス、西毛交通 タクシー:高崎市タクシー協議会
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSプラットフォーム:モビリティ・リンケージ・プラットフォーム(JR東日本のプラットフォーム) ● フロントエンド:GunMaaSWEBを改修 ● マイナンバーカード認証:mytap(TOPICが運営する本人認証アプリ) ● 経路検索機能:mixway API(ヴァル研究所の経路検索API) ● ダッシュボードシステム:Google Looker Studio
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法: MaaSアプリから利用者情報、バス等のODデータを車載システムから取得 ■ データの活用方法: ODデータをLooker Studio上で可視化し、今後の都市計画に活用



課題

- 地方自治体では、公共交通を維持するために地域公共交通計画を策定し確実な実行を進めたいが、計画策定のための経済的・人的リソースが不足し、計画策定が困難であったり、モニタリング不足による施策実施が形骸化している。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 本システムを用いて地域公共交通を計画策定し、データに基づいて路線再編や運行計画策定によって、より効果的な運行やモビリティサービスを行う

[モビリティデータの取得と活用]

- 昨年度構築した交通計画策定支援システムに対して以下の機能・データ拡張を実施する。
 - 公共交通の状況を示す指標(KPI)の拡充・修正
 - 広域自治体向け機能の拡充・修正
 - 上位計画等と指標(KPI)の連携機能追加
 - 施策内容の充実(交通空白地解消に向けた施策など)、施策提案ロジックの精緻化
 - 施策の対象詳細表示機能追加、施策の検証機能追加
 - 施策提案ロジックのバージョン管理、カスタマイズ機能

[地域交通政策等との連携]

- 上記システムを活用して、群馬県みなかみ町でデータを基に地域公共交通計画の策定を行う。また、地域公共交通会議での課題検討などにも活用し、データドリブンな意思決定の機会を拡大する。

効果

- 公共交通の維持が課題である基礎自治体が、実質的な地域公共交通計画を効率的に作成し、施策の推進にリソースを割ける状況を実現
- 広域自治体が域内の基礎自治体の状況を把握し、重要な課題の認識や必要とされている支援をタイムリーに実施できる状況を実現

事業の新規性

- 昨年度構築した交通計画策定支援システム(プロトタイプ版)について、実際の地域公共交通計画策定に活用できる機能拡張・改善を行う

事業エリア/交通事業

事業エリア:群馬県 みなかみ町 ほか
 鉄道:JR東日本 バス:関越交通バス タクシー:関越交通、新治タクシー
 自家用有償旅客運送:みなかみ町(法師線)

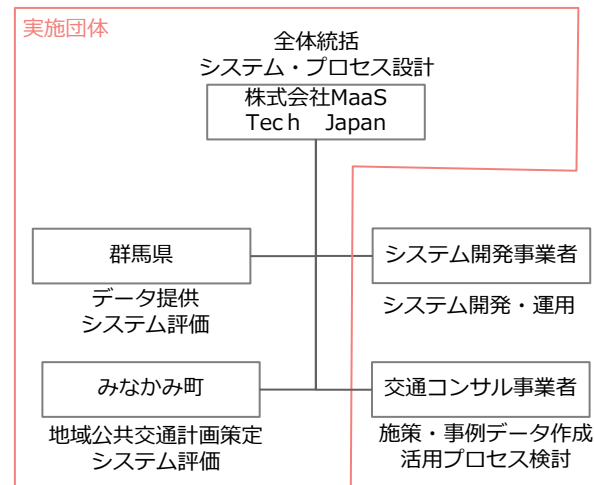
MaaSアプリ等

- MaaSプラットフォーム:GunMaaS
- フロントエンド:スクラッチ開発
- バックエンド:スクラッチ開発
- 経路検索機能:mixwayAPI
- BIシステム:Google Looker Studio/
- Microsoft Power BI

データの活用等

- データの取得方法:交通事業者(運輸局)より輸送実績、事業状況を取得。mixwayAPIより駅運行情報や経路情報を取得、GTFSよりバス運行情報を取得。人流データを外部事業者より購入
- データの活用方法:収集したデータをフロントエンド画面に可視化し、地域公共交通計画に必要な基礎データとして活用(データに応じてPower BI、Looker Studioなどを利用)

座組



スケジュール

- 4～6月 要件定義
- 7～9月 システム開発
- 10月～1月 システム活用・交通計画骨子作成
- 2月～3月 効果測定・交通計画作成

課題

- 高齢者の路線バスでの移動にかかる経済的負担と高い助成ハードル

- 利用者、事業者、行政の割引施策遂行にかかる事務負担

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- エリア内の鉄道及び路線バスに加え、タクシーやシェアサイクルを含めた経路検索と、マイナンバーカード情報に基づいた路線バスでの高齢者割引が可能なMaaSアプリを導入する。
- 経路検索は交通モードの遅れ情報を反映したリアルタイム経路検索とする。

[モビリティ・データの取得と活用]

- エリア内のバス事業者から共通IDが付与された利用実績(ODデータ)を取得する。
- ODデータの分析結果を踏まえ、今後割引率等、コンテンツのブラッシュアップとして活用する。

[地域交通政策等との連携]

- 令和3年度～令和8年度の6年間を対象とし、「誰もが利用しやすい公共交通環境の整備」等を目標に掲げた地域公共交通計画を策定の上、MaaS実現に向け、令和6年6月28日に越谷市新モビリティサービス協議会を設立した。MaaSアプリから取得したODデータや利用者情報を活用し、サイクル&バスライドの拡大に向けた駐輪場の必要性や可能性の検討など、持続可能な交通ネットワークの形成に活用する。

効果

- 高齢者等による公共交通を利用する回数の増加
- 路線バスでの交通系ICカード認証基盤の構築により、持続可能な交通ネットワークへの参考となる利用データの収集が可能

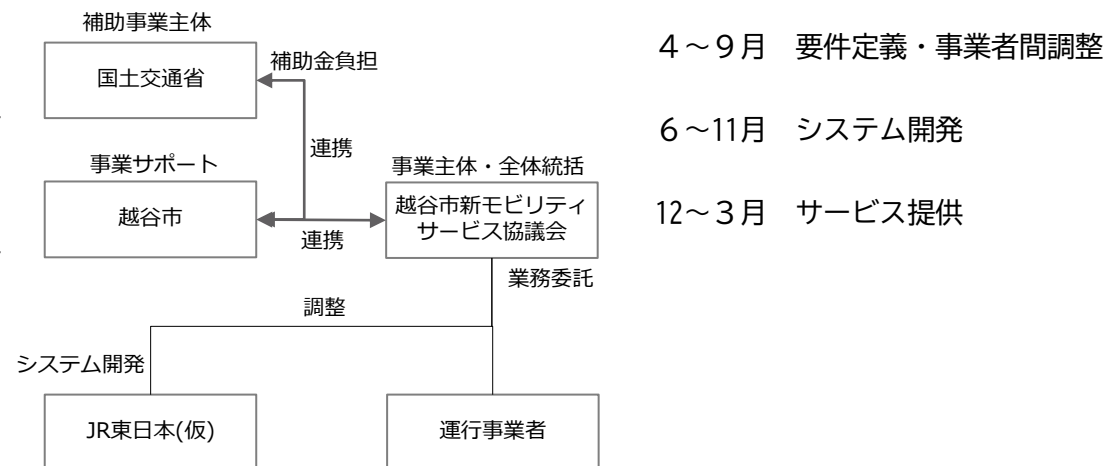
事業の新規性

- 越谷市エリアでは、これまで様々な交通モードを統合したMaaSアプリは存在しなかったが、本事業によりシェアサイクル等地域特情を踏まえたMaaSアプリを実装する。
- マイナンバーカードと交通系ICを連携することにより、簡易なUXによる割引サービスを実現する。

事業エリア/交通事業	事業エリア:越谷市/ 鉄道:JR東日本、東武鉄道、バス:朝日自動車、茨城急行自動車、ジャパントローズ シェアサイクル:OpenStreet
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSプラットフォーム:モビリティ・リンケージ・プラットフォーム(JR東日本のプラットフォーム) ● フロントエンド:スクラッチ開発 ● マイナンバーカード認証:mytap(TOPICが運営する本人認証アプリ) ● 経路検索機能:mixway API(ヴァル研究所の経路検索API) ● シェアサイクルシステム:HELLO CYCLING(Open Streetのシェアサイクルアプリ) ● ダッシュボードシステム:Google Looker Studio
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法: MaaSアプリから利用者情報、バスのODデータを車載システムから取得 ■ データの活用方法: ODデータをLooker Studio上で可視化し、持続的な交通ネットワーク形成に活用

座組

スケジュール



課題

- 住民向けの乗り合いタクシーは利用者の自宅から停留所までの移動負担等がネックとなり利用が伸び悩み、費用が増加している。
- 観光向けは、飯山駅を拠点とした冬季の2次交通の確保が課題

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 新幹線等から経路検索によりシェア乗りタクシーを検索、予約、決済
- マイナ連携の交通系ICカードにより、市民割クーポンを認証し、割引
- 市内のタクシー事業者の車両においても、シェア乗りを導入

[モビリティ・データの取得と活用]

- 経路検索や配車アプリ、市民認証等のシステムからモビリティ・データ(予約・決済情報、ODデータ、利用者情報)を活用し、取得する。
- 季節、時間帯、エリアの現状分析、交通空白の課題を可視化し、将来予測のデータ分析を行ったうえで、自治体または事業者の交通政策の運営方法や将来のライドシェア導入等、地域交通の持続性の向上を図る。

[地域交通政策等との連携]

- 飯山市地域公共交通計画では、「乗り合いタクシーの新たな移送方法」「MaaSの導入」「乗り合いタクシーの新たな予約方法」「キャッシュレス決済」の令和7年度中の実証実験が示されており、MaaSアプリを活用した「タクシー」「乗り合いタクシー」のシームレスなサービス提供、予約方法、キャッシュレス決済の実現とともに、運行ダイヤの見直し等、地域交通政策をデータ分析で最適な形にブラッシュアップし、事業者とともに持続可能な交通サービスを実現していく。

効果

- 任意の乗降箇所への対応による公共交通の利用ニーズの増加
- 乗り合いタクシーの新たな移送方法の導入による運行効率の向上
- 公共交通の利用にあたる利用者の負担の軽減

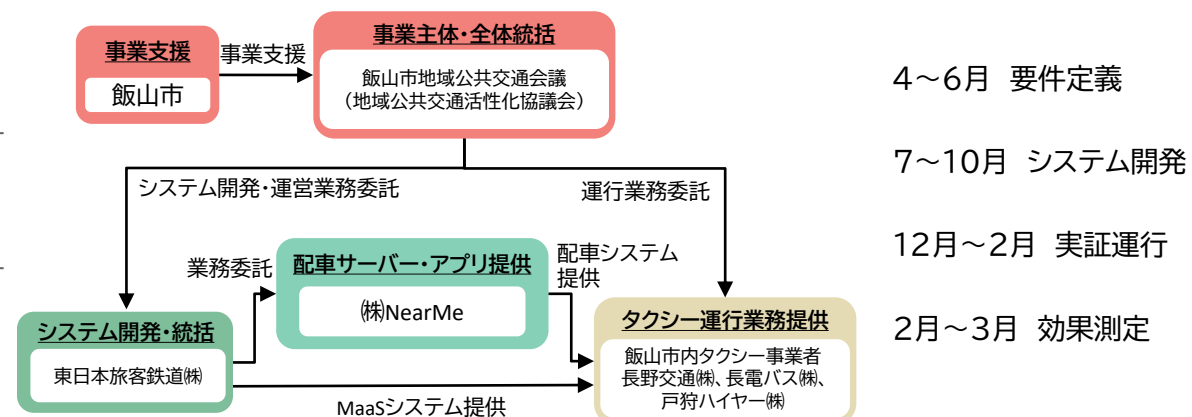
事業の新規性

- 地域住民のマッチング、観光客のマッチングにより、タクシー、乗り合いタクシーをハイブリッドなマルチモーダルに変革し、住民サービス、事業者支援、自治体サービスの高度化と効率化を実現する。
- 観光料金と住民料金を交通系ICのタッチでチェック、スマートなUIで提供する。

事業エリア /交通事業	飯山市のタクシーエリア /鉄道:東日本旅客鉄道(株) デマンド交通:乗り合いタクシー(タクシー事業者3社) タクシー:長電バス(株)、長野交通(株)、戸狩ハイヤー(有) ※飯山市内のタクシー事業者は上記の3社
MaaS アプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MLP、リアルタイム経路検索、Tabi-CONNECT (東日本旅客鉄道(株)) ● ID-PORT(JR東日本メカトロニクス(株)) ● ニアミーアプリ(株NearMe)
データの 活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法(配車予約データ、交通系IC認証データ) MaaSアプリから利用者情報、タクシーのODデータを車載システムから取得 ■ データの活用方法(地域公共交通活性化協議会での公共交通のリデザイン) ODデータをLookerStudio上でグラフ及びGISで可視化し、ダイヤ等の検討に活用

座組

スケジュール



課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 春日井市が現状有しているマルチモーダル性(自動車以外の交通手段を選ぶことができる都市構造)を維持するためには公共交通の利便性維持・向上が不可欠であるが、「乗換に対する抵抗感」が公共交通利用を阻害している。 ● 異なるモード間の移動について、有機的な連携や情報取得等は実施できていない。 ● 2023年1月~かすがいシティバスのデジタルチケットをMaaSサイトにて販売しているが、目視認証であることから、運転士負担、利用者利便性に課題が残る。 															
プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事後決済QR乗車 <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを用いた乗降と乗降実績に応じた事後決済の仕組みを構築 →OD取得の精度、運転士・市職員の負担軽減効果等を検証する チケットを都度事前購入する手間をなくし、利用者の利便性向上を目指す ● マルチモーダル利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・春日井市内のあらゆる交通モードの利用を割引条件とする →各交通事業者への参画を打診し、MaaSアプリの利用範囲拡大を目指す <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● かすがいシティバスODと他サービスを組み合わせた移動データの取得 ● シティバスの路線再編や高機能で居心地のよい交通結節点(モビリティハブ)の整備・運営、モード横断的なモビリティ・マネジメント施策検討に活用 <p>[地域交通政策等との連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通計画への知見活用、他サービスと組み合わせたサブスクリプション設定等、「公共交通をよくする取り組み」を含めた利用促進策(モビリティ・マネジメント事業)において活用 	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1261 354 1439 525">事業エリア/交通事業</td> <td data-bbox="1439 354 2471 525"> 事業エリア:愛知県春日井市(春日井駅周辺~市内主要エリア) 交通事業:[鉄道]JR東海、名古屋鉄道、[バス]かすがいシティバス、名鉄バス、[デマンド交通]北部オンデマンドバス、[シェアリングサービス]春日井市レンタサイクル、名鉄協商シェアサイクル「カリテコバイク」、名鉄協商カーシェア「カリテコ」、名鉄協商パーキング </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 525 1439 682">MaaSアプリ等</td> <td data-bbox="1439 525 2471 682"> <ul style="list-style-type: none"> ● MaaSアプリ:CentX ● 春日井市MaaSサイト:move!かすがい ● JR改札内タッチポイント:DNPモビリティポート </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 682 1439 839">データの活用等</td> <td data-bbox="1439 682 2471 839"> <ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法:MaaSアプリ「CentX」から取得 (会員ID、チケット購入番号、認証日時、認証場所:交通モード 緯度経度) ■ データの活用方法:乗換データをTableauで可視化し、バス路線再編の検討に活用。 </td> </tr> </table>	事業エリア/交通事業	事業エリア:愛知県春日井市(春日井駅周辺~市内主要エリア) 交通事業:[鉄道]JR東海、名古屋鉄道、[バス]かすがいシティバス、名鉄バス、[デマンド交通]北部オンデマンドバス、[シェアリングサービス]春日井市レンタサイクル、名鉄協商シェアサイクル「カリテコバイク」、名鉄協商カーシェア「カリテコ」、名鉄協商パーキング	MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSアプリ:CentX ● 春日井市MaaSサイト:move!かすがい ● JR改札内タッチポイント:DNPモビリティポート 	データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法:MaaSアプリ「CentX」から取得 (会員ID、チケット購入番号、認証日時、認証場所:交通モード 緯度経度) ■ データの活用方法:乗換データをTableauで可視化し、バス路線再編の検討に活用。 								
事業エリア/交通事業	事業エリア:愛知県春日井市(春日井駅周辺~市内主要エリア) 交通事業:[鉄道]JR東海、名古屋鉄道、[バス]かすがいシティバス、名鉄バス、[デマンド交通]北部オンデマンドバス、[シェアリングサービス]春日井市レンタサイクル、名鉄協商シェアサイクル「カリテコバイク」、名鉄協商カーシェア「カリテコ」、名鉄協商パーキング															
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSアプリ:CentX ● 春日井市MaaSサイト:move!かすがい ● JR改札内タッチポイント:DNPモビリティポート 															
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法:MaaSアプリ「CentX」から取得 (会員ID、チケット購入番号、認証日時、認証場所:交通モード 緯度経度) ■ データの活用方法:乗換データをTableauで可視化し、バス路線再編の検討に活用。 															
効果	<ul style="list-style-type: none"> ● モード横断的な移動実態の把握が可能となり、柔軟な券種設定や複数交通モードの組み合わせ等効果的なモビリティ・マネジメントの検討に活用できる。 ● 公共交通を乗り換えて目的地に移動する利用者が増加し、公共交通利用促進が期待される。(シティバス→シティバス乗換: 現状 約400回/月→実証期間目標 約600回/月) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1261 1028 1872 892">座組</th> <th data-bbox="1872 1028 2471 892">スケジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1261 892 1872 963"> 実施団体 事業主体 春日井市 </td> <td data-bbox="1872 892 2471 963">4月:要件定義</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 963 1872 1035"> 効果検証 計量計画研究所 名古屋大学 </td> <td data-bbox="1872 963 2471 1035">5~1月:アプリ開発</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 1035 1872 1106"> 名古屋鉄道 </td> <td data-bbox="1872 1035 2471 1106">10月頃~:実証実験(1次)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 1106 1872 1178"> MaaSシステム提供 東海旅客鉄道 </td> <td data-bbox="1872 1106 2471 1178">~2月頃:実証実験(2次)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 1178 1872 1249"> 大日本印刷 </td> <td data-bbox="1872 1178 2471 1249">3月:効果検証</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 1249 1872 1320"> 交通事業者 名鉄バス・名鉄協商 </td> <td data-bbox="1872 1249 2471 1320"></td> </tr> </tbody> </table>	座組	スケジュール	実施団体 事業主体 春日井市	4月:要件定義	効果検証 計量計画研究所 名古屋大学	5~1月:アプリ開発	名古屋鉄道	10月頃~:実証実験(1次)	MaaSシステム提供 東海旅客鉄道	~2月頃:実証実験(2次)	大日本印刷	3月:効果検証	交通事業者 名鉄バス・名鉄協商	
座組	スケジュール															
実施団体 事業主体 春日井市	4月:要件定義															
効果検証 計量計画研究所 名古屋大学	5~1月:アプリ開発															
名古屋鉄道	10月頃~:実証実験(1次)															
MaaSシステム提供 東海旅客鉄道	~2月頃:実証実験(2次)															
大日本印刷	3月:効果検証															
交通事業者 名鉄バス・名鉄協商																
事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道・バス・デマンド交通・シェアカー・シェアサイクルという多様な交通モードが事業者の垣根を越えてMaaSアプリ「CentX」で連携し、従来把握できなかったモード横断的な移動実態の把握、行動変容効果の検証を実現する。 ■ 事後決済QRチケットにより、シングルライドで都度事前検索・購入する手間をなくすとともに、実績を基にした事後のバッチ処理により、モード横断的な乗車割引を実現する。 															

課題

- 四国において観光は地方創生の切り札として期待される重要な分野であるが、タクシーについては、ドライバー不足により主要交通結節点においても円滑な乗り継ぎができないという状況が生じていることから、四国への来訪者が安心・安定して二次交通を利用できる環境を整備する必要がある。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 主要交通結節点におけるタクシーへの乗り継ぎを円滑化するため、乗車中の公共交通(一次交通)機関(高速バス、旅客船)の中でQRコードをスマートフォン等で読み取り、下車後の交通結節点で乗車するタクシーを手配するサービス(「乗り継ぎ円滑化サービス」)を提供する。

※鉄道の列車内からタクシーを手配するサービスについては、JR四国の「鉄道とタクシーの配車連携実証事業」において提供する。

- 周遊観光促進やタクシー手配の円滑化の観点から、目的地から次の目的地へのスムーズな次の移動手段確保のため、観光施設及び観光施設近隣の交通結節点(鉄道駅、空港)において、QRコードをスマートフォン等で読み取り、当該地点で乗車するタクシーを手配するサービス(「手配円滑化サービス」)を提供する。

[モビリティ・データの取得と活用]

- 本サービスを通じて取得したタクシーの利用者数、配車率、目的地等を集計し、利用者動向を分析することで、今後の検討材料とする。

[地域交通政策等との連携]

- 主要交通結節点、観光施設におけるタクシーへの乗り継ぎニーズを把握することで、タクシー事業者の業務運営の効率化に繋げるほか、香川県地域公共交通計画との整合性を引き続き確保しながら実証実験後の取組方針を検討する。

効果

- デジタル技術を活用してタクシーに円滑に乗車できる環境を整備することで、公共交通を利用したシームレスな観光が可能となり、四国エリアの魅力向上に繋がるほか、交通結節点におけるタクシーの待機時間が削減され、業務効率化が図られる。

事業の新規性

- 昨年度、四国旅客鉄道(株)及び(株)電脳交通が実施した特急列車内からのタクシー手配サービスの実証実験を参考に、高速バス、旅客船の車内からの手配も対象とすることで、交通モードを拡大した場合の実施手法を確立する。また、観光施設からのタクシー手配サービスを併せて提供することで、面的に二次交通を整備することが可能となる。

事業エリア/交通事業

事業エリア:香川県(瀬戸内国際芸術祭2025の開催地域を中心とする)

タクシー:対象交通結節点を営業区域に含むタクシー事業者/鉄道:JR四国(予讃線)、ことんでん(琴平線、志度線)/バス:高速バス(高松～徳島間)/旅客船:香川県の離島と本土を結ぶ航路の運航事業者 空港:高松空港/観光地:香川県内の主要観光施設

MaaSアプリ等

- (株)電脳交通 クラウド型配車システム(タクシー手配Webフォーム)及び香川Taxiアプリ

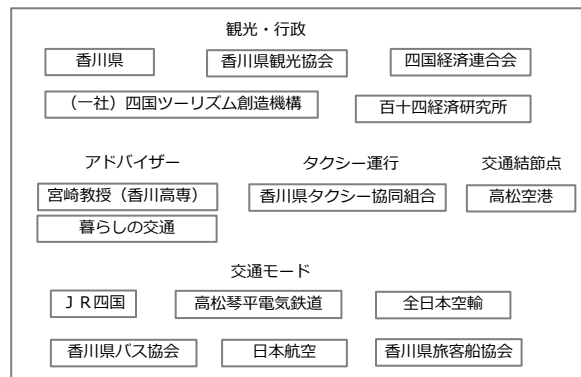
データの活用等

- データの取得方法:タクシー手配Webフォームにより、タクシー乗車場所、手配時間、目的地等を取得
- データの活用方法:データの活用方法:タクシーの利用者動向の分析、地域経済への影響の検証

座組

スケジュール

香川県タクシー利用利便性向上協議会



4月 協議会立ち上げ

4～7月 システム構築・QRコード設置・広報

8月～12月 実証運行

8月～2月 データ分析・効果検証

課題

- 四国内での交通結節点である特急停車駅(特にJR四国管内において利用の多い予讃線)において、繁忙期や早朝・深夜の時間帯を中心に二次交通となるタクシーの供給が不足しており、駅からの交通の足確保が課題となっている。

プロジェクト概要

- [交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]
- 列車内および出発駅において、二次元コードをスマホで読み取り、専用フォームから到着駅でのタクシーを事前手配できるサービスを提供する。
- [モビリティ・データの取得と活用]
- 本サービスで把握できる、タクシー利用者の利用時間や目的地などを分析することで、鉄道とタクシーを乗り継ぐ利用者のニーズを把握し、利用促進につなげる。
- [地域交通政策等との連携]
- 本実証は、香川県・愛媛県の地域公共交通計画の下記施策に合致している。
 - 香川県地域公共交通計画(令和6年3月)
 - 目標2 利便性の確保
 - 施策2-3 交通モード間の結節性の強化
 - - ③ デジタル技術等の活用
 - 愛媛県地域公共交通計画(令和6年6月)
 - 目標3 サービスや運営の高度化
 - - 事業名 MaaS等の新たなモビリティサービスの推進
 - また、駅での鉄道からタクシーへの乗り継ぎニーズを把握することで、タクシー事業者の業務運営の効率化につなげる。

効果

- タクシーの供給不足で、到着駅で降りても駅前にタクシーがない状況を、デジタル技術を活用した事前手配により解決することで、お客様は安心して、鉄道からタクシーへ乗り継ぎを行うことができる。

事業の新規性

- R6年度実施した予讃線駅6駅(川之江駅、伊予三島駅等)に、新たな特急停車駅を加え、列車内と、新たに出発地の駅において、二次元コードを読み取ることで、タクシーの配車を可能にする。

事業エリア/交通事業

香川県・愛媛県/鉄道:JR四国予讃線、各停車駅のタクシー会社
(高松駅、坂出駅、宇多津駅、丸亀駅、多度津駅、観音寺駅、川之江駅、伊予三島駅、今治駅)

MaaSアプリ等

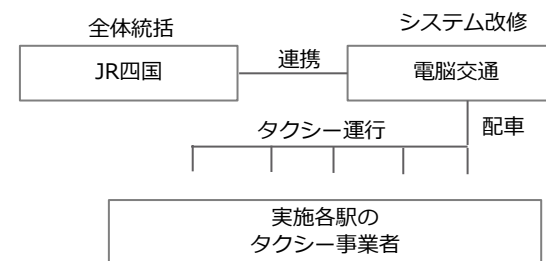
- 电脑交通DS(クラウド型配車システム)
- 电脑交通タクジット(タクシー手配フォーム)

データの活用等

- データの取得方法:タクシーの利用日時、乗車駅、到着地(任意)
- データの活用方法:鉄道とタクシーの乗換ニーズの分析

座組

スケジュール



4月～ 7月システム改修等準備

8月～12月 実証事業実施

1月～ 3月 データ分析
成果とりまとめ

課題	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少及び少子高齢化の進行による公共交通の利用のベースの減少への対応が必要な中、旭川市においては利便性の確保と運行に必要なコストを両立した公共交通網構築が必要である。本事業では、旭川空港を起点としたMaaSの社会実装により、利用者に関するシームレスな連携・現在取得できていない各種データの収集を実現することで、周辺エリアの交通課題の解決や持続可能な公共交通網構築を目指す。 	
プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業での提供機能と既存サービス機能のベストミックスにより、シームレスな移動の実現を目指す。特に、以下機能(一部)を目玉機能とし、UX向上を企図する。 <p>検索:旭川空港に発着する航空機の運航状況と連動した経路検索 予約:経路検索結果と連動した、公共交通の予約 決済:乗り放題パス等のデジタル化を含む公共交通のキャッシュレス決済</p> <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発するMaaSアプリにより取得する位置情報のデータや、タッチポイントにより取得したODデータ、エンドコンテンツ利用実績等のデータについて、地域単位での事業者間の顧客データを連携し分析可能な基盤を整備し、バス事業者のオペレーション効率化(エアライン運行情報をもとにしたバス発車時間の変更等)や観光地等を効率的に繋ぐ等の路線変更の検討や、交通施策の改善検討を実現する。 アプリ経由で事業者ごとに取得したデータを共同で管理・運営できるデータレイクを整備することで、交通・観光事業者・行政(地域)が効果的な計画・施策の立案に活用 エアラインの運行情報を公共交通事業者(バスなど)が確認できる管理画面の整備も実現 <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常の経路検索に加え、利用者に対する情報掲出に特化した周遊モードを新たに開発し、旭川エリアの宿泊、観光、飲食などの店舗情報やイベント情報を地図上で掲出(経路検索、マルチモーダル検索も可能) 移動と観光をパッケージで予約・購入可能な企画型チケットの販売も実施 	<p>事業エリア/交通事業</p> <p>旭川空港周辺エリア(旭川市、東神楽町 など) 一次交通事業者(JAL、ANA、ADO、JJP) 二次交通(旭川電気軌道、道北バス)</p> <p>MaaSアプリ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存サービスをアプリ機能として実装したMaaSアプリを事業内で新規開発 主な機能は以下の通り ※追加での機能拡張も検討中 <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の経路検索、公共交通の予約・決済、観光地検索・チケット予約、デジタルチケット利用(利用者によるQRコード読取)、チケット・クーポン利用 <p>データの活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> 取得データ:DL数、閲覧数、経路検索履歴、予約・利用履歴、ユーザー属性情報 等 使用ツール:データ連携基盤、データレイク 分析主体・活用:みずほR&Tにより分析を実施し、交通施策の検討材料等に活用 <p>座組</p> <p>全体統括、事務局</p> <p>【旭川空港を起点としたMaaS推進事業協議会】 メンバー： みずほ銀行、北海道エアポート、JAL、ANA、JJP、ADO、旭川電気軌道、道北バス、旭川市、東神楽町、旭川商工会議所、旭川観光コンベンション協会、北海道上川総合振興局、北海道商工会議所連合会、北海道大学</p> <p>スケジュール</p> <p>4～5月 データ項目、評価項目の整理 4～6月 要件整理、システム改良 6～1月 現地実証、データ取得 モニタリング、評価項目見直し 1月～3月 評価 (実証後実装に向けた)要件定義</p>
効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域単位での事業者間の顧客データの収集・連携・分析により、公共交通の路線再編・効率化や交通施策の検討に寄与する。 	
事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> 空港に発着する航空機の運航状況と連動した経路検索を可能とするなど、他地域のMaaSにおける実装実績が多くない「エアライン運行情報と公共交通の連携」により、旭川空港を起点とした移動の利便性向上とオペレーションの効率化を実現する。(新規性が高いと考える具体的な取組) エアライン運行情報を公共交通事業者(バスなど)が確認できる管理画面等を整備 エアライン到着の遅れに対応し、バスの発車時間・配車計画の変更等のオペレーションの実現性検討を実施 	<p>みずほリサーチ&テクノロジーズ</p> <p>各種調査 北海道大学</p> <p>システム提供・改良 ジョルダン</p> <p>運行 旭川電気軌道、道北バス</p>

課題

- G.W.や夏休み等の繁忙期において、主要空港の混雑や飛行機、レンタカーの需要過多による機会損失が生じている。また、広域観光に便利なワンウェイサービスは、回送コストが高く、ニーズはあるものの、事業者の負担が課題となっている。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- ワンウェイによるレンタカー利用者を対象とし、飛行機とレンタカーをセットで予約するシステムにて、特定の空港に需要が偏り、機会損失が生じる場合において、需要を緩和する旅行商品をユーザーに訴求する仕組みを構築する。需要が平準化し、機会損失の解消および、レンタカー事業者の回送コスト低減を図る。

例:函館空港着→新千歳空港発の需要に偏りがあれば、逆方向の旅行商品を割安で訴求し、回送コストを低減しつつ、旅行の機会損失を解消する。

[モビリティ・データの取得と活用]

- 施策前後で、飛行機とレンタカーの旅行商品の販売データを比較し、旅行の機会損失がどの程度削減されたのか分析する。
- レンタカープローブデータによる旅行軌跡を分析し、ワンウェイ利用促進による観光促進効果を分析する(ワンウェイ以外の旅行範囲や立ち寄り回数を比較等)。

[エンドコンテンツとの連携]

- ANAダイナミックパッケージおよびANAトラベラーズレンタカーでレンタカーのワンウェイ利用促進を図り、観光地での周遊や観光消費の増加を図る。

効果

- ワンウェイ利用促進によるレンタカーの機会損失の解消、レンタカー事業者の回送コストの低減

事業の新規性

- 飛行機とレンタカーを組み合わせてワンウェイ利用を促進するようなサービスはこれまでにない新たな試み。

※レンタカーのワンウェイ利用において返却空港をコントロールするサービスは存在するが、飛行機とセットではないため、効果は限定的。

例:北海道で乗り捨てしてくれる方へ感謝割プラン!お得に北海道を周遊【楽天トラベル】(rakuten.co.jp)

事業エリア/交通事業

事業エリア:北海道

交通事業:飛行機:ANA /レンタカー:トヨタレンタカー、ニッポンレンタカー

MaaSアプリ等

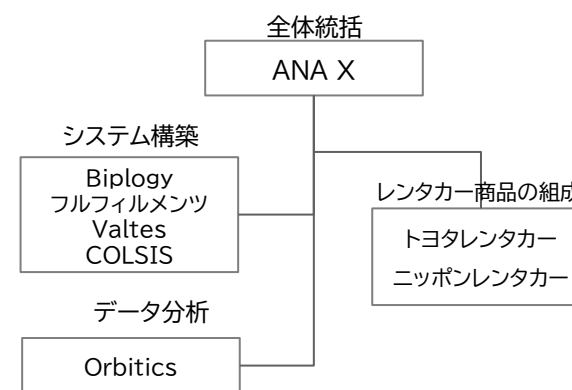
- 販売サイト:ANA ウェブサイト
- 旅行商品:①ANAトラベラーズ ダイナミックパッケージ②ANAトラベラーズ レンタカー

データの活用等

- データの取得方法:予約情報を貯めるサーバーから抽出、レンタカーのドライブレコーダーやナビからプローブデータ※を収集 ※一部のレンタカー車両に限る
- データの活用方法:機会損失解消の評価、観光周遊の広域化の評価

座組

スケジュール



4月 要件定義

4~5月 システム開発

6月~10月 実証運行
(利用開始も6月から)

11月~1月 効果測定

2月~3月 完了実績報告書作成

課題

- 東北は少子高齢・人口減少が進む課題先進地域であり、コロナ禍で落ち込んだ観光客数も回復していない。仙台市においても観光客は、滞在時間が比較的短い傾向があり、七夕まつりや牛タン等訴求力のあるコンテンツがある一方で、認知度が低い観光資源も多い。本市を含む東北地方の持続的な発展を推進するためには、東北の玄関口であるという都市特性の観点から、交通サービスと観光資源を効果的に連携・利活用しながら、域内の回遊性向上と観光消費額の増大により、地域経済の活性化を図る必要がある。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- やまがたMaaSと連携し、各アプリの相互リンクや両市をまたぐ周遊チケットを造成し、仙台MaaSの認知拡大と広域周遊の促進を図る。
- 現状クレジットカードのみとなっている決済手段を追加することで、ユーザーの利便性向上を図る。
- 地下鉄駅の有人改札にQR改札機を導入し、改札のスマート化によりユーザーの利便性向上と駅務員の負担軽減を図る。
- 市民ポータル(自治体アプリ)とシングルサインオン(SSO)連携を行い、市民認証や市民ポイント活用の可能性を検討する。

[モビリティ・データの取得と活用]

- MaaSアプリで収集する利用者情報のデータ(属性データ、購入や改札時のGPSほか)を随時各事業者(交通・施設)で取得し、交通施策や周遊バス・企画券等の新規チケットの開発、広報戦略に活用する。また、定例的に開催している会議(年2回)において事務局で取りまとめるうえ、各事業者に報告し、具体の取組検討に活用する。

[エンドコンテンツとの連携]

- レジャー施設等で広く導入されているチケットシステムとAPI連携し、新規施設を仙台MaaSに取り込むとともに、乗車券(交通)と入場・体験チケット(観光)のセット券や周遊パスを造成する。

効果

- やまがたMaaSとの連携により、公共交通を利用して両市内を周遊する来訪者が増加する。
- 仙台MaaSの利便性向上と交通・観光のセット券造成等の魅力向上により、公共交通利用による交流人口拡大、圏域内の回遊性向上に寄与する。また、交通事業者・観光事業者間の連携を促し、より高度な民間サービスの提供が期待される。

事業の新規性

- 他自治体(山形市)との連携により、市域・県域を越えた広域周遊を促進する。
- 市民ポータルとのSSO認証を行い、市民の利用機会及び利用方法の拡充を図る。
- 決済手段の追加、地下鉄駅へのQR改札導入により、ユーザーの利便性向上を図る。
- 外部チケットシステムとのシステム連携により、交通・観光のセット券等を造成する。

事業エリア/交通事業

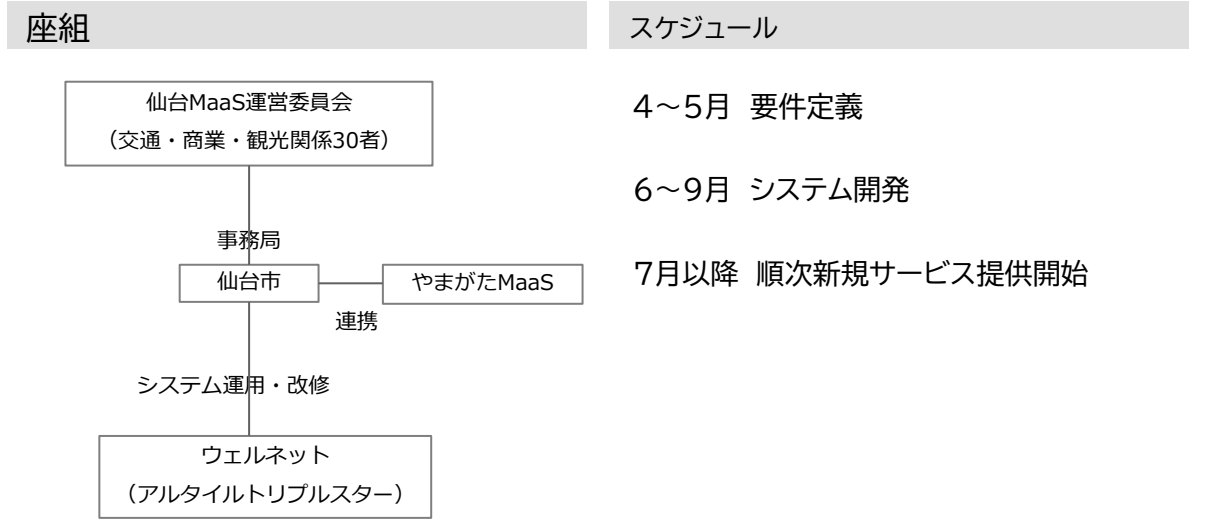
事業エリア: 仙台市全域及び周辺市町村(山形市、富谷市、名取市、川崎町)
 鉄道: 仙台市交通局、JR東日本、仙台空港鉄道
 バス: 仙台市交通局、宮城交通、タケヤ交通、愛子観光バス
 タクシー: 宮城県タクシー協会加盟会社
 シェアサイクル: ドコモバイクシェア、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ

MaaSアプリ等

- MaaSプラットフォーム: アルタイルトリプルスター
- フロントエンド: スクラッチ開発
- 経路検索機能: GoogleMap
- ダッシュボードシステム: アルタイルトリプルスター
- API連携: TicketHUB(チケットシステム)
- 市民ポータル: EYE-Portal
- やまがたMaaS: RYDE PASS

データの活用等

- データの取得方法: (交通モード、システム(交通系IC等)、データの種類) MaaSクラウドシステムから利用者情報、各交通機関のODデータを取得
- データの活用方法: (データ活用に使用するシステムやサービス) クラウドシステム上から利用者情報をCSV出力し、EXCEL等で分析するほか、ODデータはGISで可視化でき、新規商品開発などに活用。



課題

- 令和3年3月の類似圏域との比較分析調査結果から、仙山生活圏は他の県庁所在都市同士が隣接する都市圏と比較して、地元への定着率が低い状況であり、他の都市圏では交通利便性の高さが活発な交流を促進し、圏域外への人口流出を抑制しているという分析結果が示されている。この結果を踏まえ、仙山圏を魅力ある圏域とするために、今後、交流促進を図る取組みを検討する必要がある。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 「やまがたMaaS」と「仙台MaaS」の双方のMaaSアプリを用いて、都市間移動に活用できる新たなデジタルチケットを販売するとともに、利用者が既存チケットと組み合わせることにより都市間交通と都市内交通をシームレスに選択できる環境を構築する。例えば両市のイベントに合わせた交通手段+イベントチケットのデジタルチケットを造成し、更なる交流人口拡大、将来的な関係人口増加を目指す。

[モビリティ・データの取得と活用]

- MaaS利用者の属性(性別・世代・居住地)やMaaSアプリ利用時の位置情報が取得できるため、ニーズに合わせた新たなデジタルチケットの構築や、観光の視点から、公共交通網で移動可能な個人型や体験学習型のモデルコースを作成し、移動手段も含め観光地の魅力を高めるような、交流促進を図る取組みの検討に活用する。

[エンドコンテンツとの連携]

- 仙台市との観光、飲食、交通カテゴリのデジタルマップ連携

効果

- 市外からの来訪者を公共交通の利用に結びつけ、中心市街地や観光地での滞在時間を延ばすことで魅力ある地域産業における消費額の増加
- 地域経済活性化による雇用促進や住みやすく魅力ある市へ定住を促進

事業の新規性

- 仙台市との都市間連携

山形市「観光・文化」、仙台市「経済・ビジネス」の各分野でお互いの強みを活用し、仙台市が提供している「仙台MaaS」と連携する。また、連携を進める中で、データ基盤の共有を検討し、相互のモビリティサービスを提供できる環境の整備を目指す。当初は共通イベントチケットを造成しそれぞれのサイトで取扱い、お互いのサイトで販売しているローカルチケットについては相互リンクで紹介し利用者拡大を促す。将来的に相互のサイトで販売できるようAPI連携など実現性の協議を開始する。

事業エリア/交通事業

事業エリア:仙山都市圏(山形市、仙台市)
バス:山交バス、市営コミュニティバス タクシー:山形地区ハイヤー協議会加盟会社
コミュニティサイクル:ecobike

MaaSアプリ等

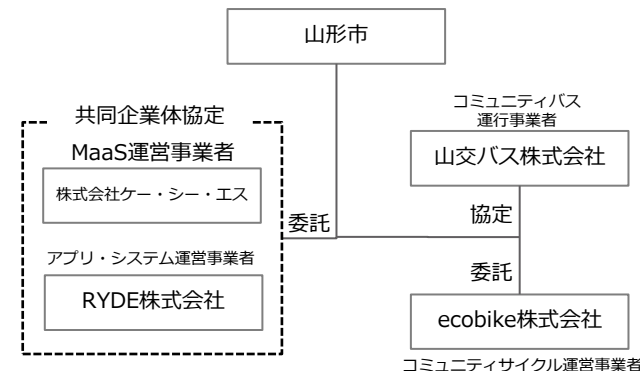
- RYDE PASS

データの活用等

- データの取得方法:バス、交通系ICカード、Tableau
- データの活用方法:路線バスの再編の検討、再編の検証

座組

スケジュール



- 4月～5月 連携体制・連携事業検討
5月 やまがたMaaSコンソーシアム
6月～9月 連携事業実施
10月 やまがたMaaSコンソーシアム
11月～12月 連携事業実施
次年度連携事業検討
1月 やまがたMaaSコンソーシアム
2月～3月 効果検証

課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者や高齢者等の移動制約者の公共交通利用が進まず、移動制約者の観光等の余暇活動が制限されている。また、市民の移動は自家用車利用に大きく依存しており、公共交通の利便性の向上や交通サービスの付加価値創出が求められる。
----	--

プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内のあらゆる交通サービスをハンズフリーで利用(乗降判定、決済)できるハンズフリーチケットを導入 ハンズフリーチケットでは、交通機関利用だけでなく、移動目的となる医療・観光・小売等の利用決済を可能とする。 ハンズフリーチケットによる交通と施設の利用履歴に基づく精算型の割引サービス、近親者等による見守りなど交通サービスに付加価値を創出するサービスを導入 <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通利用のODデータ:今後の地域公共交通計画および事業者のデータ分析取組との連携(自動運転バス等の新規路線敷設や各交通事業者のタイヤ改正、渋滞解消等) 利用者の移動・滞在履歴:観光・地域通貨事業者等におけるマーケティング施策、移動制約者(障がい者)等の公共交通利用時の見守りサービス等 <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <p>以下施設等との企画券のデジタルチケット販売およびクーポン連携等を実証。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商業施設:つくば駅周辺の飲食・小売店連携および地域通貨等連携店舗等 観光施設:つくば駅周辺の観光施設、筑波山周辺施設等 医療関連施設:筑波大学付属病院内の施設等 	事業エリア/交通事業	<p>事業エリア:つくば市/(交通事業者との連携は調整中)</p> <p>鉄道:首都圏新都市鉄道(つくばエクスプレス)、筑波観光鉄道 バス:関東鉄道、つくバス、つくばね号、パーソナルモビリティ「つくモビ」 シェアサイクル「つくチャリ」</p>												
		MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> つくば市スマートフォンアプリ:つくろけ(デジタルチケットサービス)※仮称 企画券販売元(地域事業者、旅行代理店)等とのシステム連携(地域通貨アプリ、決済システム等) 												
		データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> データの取得方法:事業者連携システム・運行管理システム・ハンズフリーチケットシステム等からデータ連携基盤経由で取得 データの分析活用:左記参照。OD1回/期、見守り1回/週、マーケ1回/月 												
		座組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>全体統括</th> <th>関連事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">つくばハンズフリーチケット共同事業体</td> <td>つくば市</td> </tr> <tr> <td>首都圏新都市鉄道</td> </tr> <tr> <td>関東鉄道</td> </tr> <tr> <td>日立製作所</td> </tr> <tr> <td>つくば観光コンベンション協会</td> </tr> <tr> <td>つくばまちなかデザイン</td> </tr> </tbody> </table>	全体統括	関連事業者	つくばハンズフリーチケット共同事業体	つくば市	首都圏新都市鉄道	関東鉄道	日立製作所	つくば観光コンベンション協会	つくばまちなかデザイン			
全体統括	関連事業者														
つくばハンズフリーチケット共同事業体	つくば市														
	首都圏新都市鉄道														
	関東鉄道														
	日立製作所														
	つくば観光コンベンション協会														
	つくばまちなかデザイン														
		スケジュール	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>4~7月</td> <td>要件定義</td> </tr> <tr> <td>8~10月</td> <td>システム開発</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>テスト</td> </tr> <tr> <td>12月~2月</td> <td>実証運行</td> </tr> <tr> <td>10月~2月</td> <td>プロモーション</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>効果測定</td> </tr> </tbody> </table>	4~7月	要件定義	8~10月	システム開発	11月	テスト	12月~2月	実証運行	10月~2月	プロモーション	2月	効果測定
4~7月	要件定義														
8~10月	システム開発														
11月	テスト														
12月~2月	実証運行														
10月~2月	プロモーション														
2月	効果測定														

効果	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者等の移動制約者の余暇活動の促進 自家用車から公共交通利用への行動変容による住民の移動形態の変化と地域周遊性の向上 データの利活用による事業者の業務効率改善やマーケティング施策の向上
----	--

事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> 自治体敷設のスマートモビリティ・既存交通事業者双方がシームレスに利用できるチケット技術、リアルタイムでの移動データの取得と分析活用 交通事業者・自治体・地域の観光・小売店等が連携しデータ活用を行う基盤構築 地域の観光・小売・飲食・医療施設等と連携し、事後精算による精算型の割引や見守り等、ユーザが具体的にメリットを享受される地域として多岐に渡るユーザーサービスの導入 電波不感地域である山間部~市街地・屋内外まで多岐に渡る通信環境を横断し移動履歴データを収集
--------	--

課題

- 圧倒的住宅都市！ゆえ狭い道が多く住民の高齢化に合せて移動制約や交流課題が生まれやすい都市構造。ゼロカーボンシティの実現に向け、健康増進など区民のベネフィットへの遡及を踏まえ、杉並区産MaaSアプリ「ちかくも」で取得できるデータと既存オープンデータを活用するとともに、小さい移動と地域コミュニティをつなぐことで、移動と交流の総量を最大化して活性化させる。

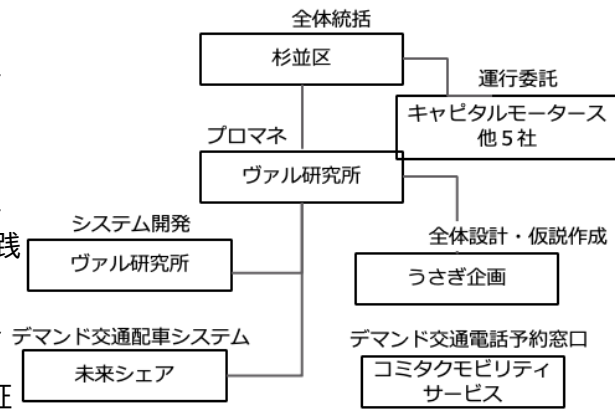
<p>プロジェクト概要</p>	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] 杉並区公式LINEからアクセスできる「ちかくも」アプリから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 堀ノ内・松ノ木地域(公共交通不便地域)の区営乗合タクシーを含む経路検索ができる ● 駐輪場の満空情報を確認できる(R6より自転車フレンドリープロジェクト始動) ● グリーンスローモビリティの乗車人数等リアルタイムデータ表示や停留所周辺レコメンド <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取得 ・住民アンケート(既存の区民調査、イベント等での対面インタビュー、Webアンケート) <ul style="list-style-type: none"> ・グリスロおよびAIオンデマンド交通の利用・移動データ ・連携するシェアサイクル利用・移動データ ・コミュニティバス「すぎ丸」、駐輪場の利用データ ● 活用 ・小さい移動の連鎖に向けた活用(グリスロ→徒歩やシェアサイクルなど) <ul style="list-style-type: none"> ・移動×地域コミュニティの連携に向けた活用(サークルやマルシェ等との連携) ・移動手段相互の連携策検討や移動手段の最適化 <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外出促進および健康福祉イベントの参加増をねらった「おでかけマップ」と健康イベントとの連携 ● 移動目的創出策としての「おでかけマップ」「商店街割引クーポン」 	<p>事業エリア/交通事業</p> <p>事業エリア:杉並区/ 鉄道:東日本旅客鉄道、京王電鉄、西武鉄道、東京地下鉄 バス:東京都交通局、関東バス、京王電鉄バス、西武バス、小田急バス、国際興業 タクシー:キャピタルモータース、さがみ交通、三幸交通、杉並交通 シェアサイクル:ハローサイクリング、ドコモ・バイクシェア、LUUP デマンド:区営乗合タクシー(AIオンデマンド交通) グリーンスローモビリティ:キャピタルモータース</p> <p>MaaSアプリ等</p> <p>ちかくも(杉並区産MaaSのインターフェース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基盤/アカウント認証:LINEアプリ ● 経路検索:mixway(Webサイト) ● デマンド交通配車システム「SAVS」 <p>データの活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法:ちかくもアプリ経由の乗車データ(デマンド、グリスロ、シェアサイクル等)・属性データ・デジタルチケット/クーポン利用データ、オープンデータ ■ データの活用方法:移動需要喚起による地域活性に向けた移動状況の可視化、施策検討 <p>※パワーBIの活用検討のほかTableauの活用も検討し、横断的な事業効果「見える化」していく</p> <p>座組</p> <p>スケジュール</p>
------------------------	---	--

効果

- 小さい移動の連鎖とコミュニティとの連携による移動需要の喚起と地域活性化
- 交通事業者など地元プレイヤーとデータ活用の実践事例を重ねることでの連携深化
- 地域活性化に向けた仮説をまず作り、収集すべきデータと確認点を絞る業務プロセス

事業の新規性

- 地域活性化に向けた仮説をまず作成。次に収集するデータや活用方法を決め、実践してPDCAを回していく複数関係者間での「目的first」の学習サイクル
- 地域コミュニティ集客力向上に向けた非交通部門とのデータ活用と共同検証を通じた、「モビリティ×α」の共創人材の実地育成
- 駐輪場の満空情報の発信により、別の交通手段への誘導を含めた行動変容を検証



- R7.4 アンケート等での移動実態把握、イベント等の企画検討
- R7.8 ちかくもアプリ機能拡張
・経路検索にデマンド追加
・駐輪場の満空情報追加
- R7.9 ちかくもアプリ機能拡張
・おでかけマップ×健康福祉イベント
- R7.10 商店街割引クーポン配布、移動×地域コミュニティイベント開催
- R7.3 アンケート等での移動実態把握、まとめ

課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 他地域より低い観光消費額 ● 滞在時間が短く、宿泊利用者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 首都圏からの近さを活かせずリピーターが少ない ● 繁忙期集中による渋滞と施設混雑
----	---	---

プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <p>(1)エリア内の鉄道およびバス、タクシー、シェアモビリティ等に加え、新たな水上交通を造成し、newcalからの経路検索と利用予約、決済を可能にすることで、地域交通の課題解決と交通サービスの連携を強化。マップ内における水上交通のポート情報の表示。(京浜フェリーボートの水上交通、葉山マリナーの海上タクシー)</p> <p>(2)企画乗車券のQRチケットによるデジタル認証の先行実装に向けた要件定義および実施事業者の選定と取り纏め [モビリティ・データの取得と活用]</p> <p>(3)地域汎用スタンプラリーを活用した利用促進を通じた移動データの取得事業</p> <p>○三浦半島ロングスタンプラリー → 地域事業者協働での来訪促進を通じデータ取得</p> <p>○地元良品Journeyスタンプラリー → 地産品事業者との回遊促進を通じデータ取得</p> <p>(4)顧客の声(VOC)を集めるUGCクチコミ機能</p> <p>→ 地域事業者(約350団体)が運営する店舗や交通機関に対するクチコミ機能を実装</p> <p>[取得データ例] 会員情報(名前、性別、年代、郵便番号など)、経路検索(出発地名、目的地名など)、チケット(商品名、乗車券、利用券、スタンプラリーなど)</p> <p>→ 本事業を通じ取得した移動・クチコミデータをクロス分析し、自治体や参加事業者間で共有し、MaaSレベル4(政策の統合)の実現を目指す。</p> <p>[施策例] ①シーズンごとにおすすめルートを生成し、再来訪促進を図る。</p> <p>②混雑を避けたルートや訪問時期の推奨、自治体の混雑緩和策立案を行う。</p> <p>③公共交通の利用促進策を地域協働で展開することによる地域課題の解決</p> <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <p>(5)サイトUI・UXの改善により、エリアの観光情報入手および移動の利便性向上</p> <p>地域の観光・交通事業者がUGCとして情報発信できる地域共通基盤として全面リニューアル、UIデザイナーにより既存サイトのUI・UXを全面的に見直すことで、エンドユーザや地域事業者ともに利用しやすいサイトを目指す。</p> <p>(6)京急プレミアポイントとの連携</p> <p>ポイントシステムとのAPI連携により、約80万人のポイント会員が保有ポイントをMaaS地域共通チケットと交換できるようにする。将来的に機能拡張し、地域事業者の加盟店化を通じMaaS基盤を活用した地域共通ポイントとして展開するための初期開発と位置付ける。</p> <p>(7)京急線アプリとの統合</p> <p>実質的なMaaSアプリ化の第1歩として、既存鉄道アプリとのAPI連携により地域情報やUGCの発信を行い、移動需要の喚起やデジタルチケットの販売などを実施する。</p>
----------	--

効果	<ul style="list-style-type: none"> ● newcal基盤を高度化し地域経済の活性化を図るとともに、MaaS基盤を軸とした沿線地域の経済圏を確立する
----	---

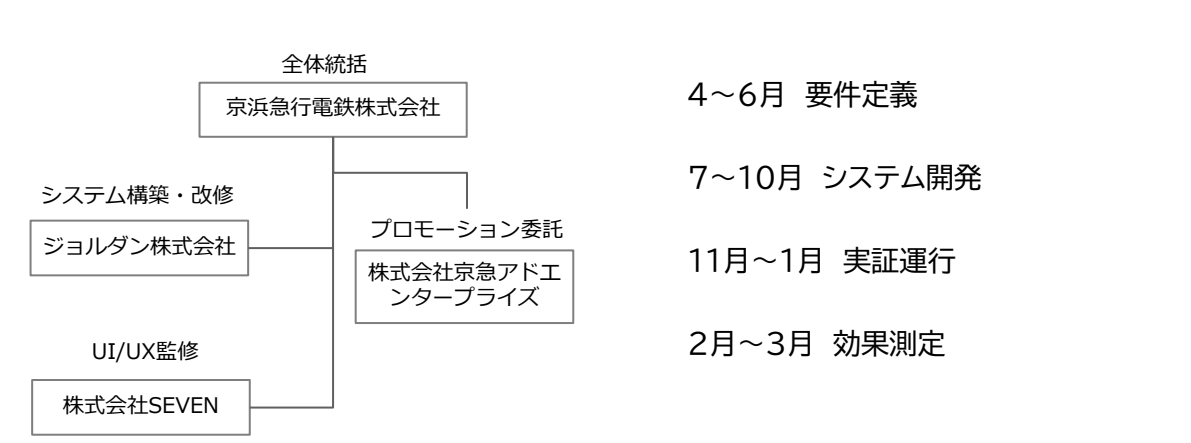
事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続事業(UI/UXの継続改修、スタンプラリー機能の利用促進) ■ 新規PJ(自社ポイントサービスとの連携、クチコミ機能開発) <p>→すでに世の中に存在しているものであると思うが、沿線地域の中ではまだ存在していないため、開発をおこないたい。</p>
--------	--

事業エリア/交通事業	<p>三浦半島(4市1町)エリア, 大田エリア, 川崎エリア, 横浜エリア</p> <p>京急線、京急バス、横浜市営地下鉄、みなとみらい線、横浜市営バス、神奈中バス、臨港バス、川崎市営バス、LUUP、ドコモバイクシェア、オープンストリート、サンオータス、東急バス、都営バス、江ノ電バス、京浜フェリーボート、葉山マリナー</p>
------------	---

MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSプラットフォーム: 地域情報/MaaSサイト「newcal」 ● 経路検索機能: ジョルダン 乗換案内
----------	--

データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法: MaaSアプリ(経路検索、チケット、会員登録)から利用者情報を取得 ■ データの活用方法: newcalデータ分析CMSを使って利用属性、利用動向を分析
---------	---

座組	スケジュール
----	--------



課題

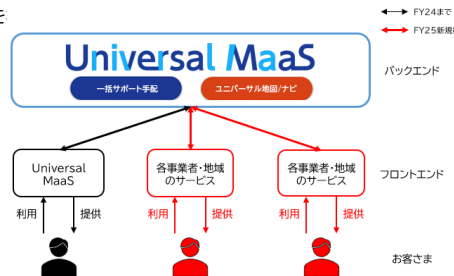
- 事業者・地域毎に、ユニバーサルサービス・バリアフリー情報が点在しており、移動躊躇層※が利用しづらい。また、MaaSプラットフォームが各所に存在するが移動躊躇層向けの情報がない
 - 移動躊躇層の移動データがなく、自治体・事業者の対応施策が打ちづらい
 - 移動躊躇層が観光地で必要とする情報が各地で統一されておらず利用されていない
- 上記の社会課題を解決することで、「誰もが移動をあきらめない世界」の早期実現に繋げることが可能になる。

※障がいや高齢など、何らかの理由により移動にためらいのある方々

プロジェクト概要

1. 交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)

- (1)一括サポート手配(交通移動/宿泊/観光サービス向け)
 - ①2024年度に抽出した課題を解決し、社会実装を目指す
 - ②事前手配サービス非保持の事業者向けに個社単一手配機能を
 - ③一括サポート手配の対象に新規事業者(上記①含む)を追加するための接続インターフェース(外部API)を構築
- (2)ユニバーサル地図/ナビ(徒歩区間向け)
 - ①2024年度に抽出した課題を解決し、サービス向上を図る
 - ②市区町村単位での導入のみならず、都道府県単位や各地域のMaaSへの導入を前提にした仕組みを構築
 - ③接続インターフェース(URLパラメータ制御)を構築し、各地域のMaaSコンテンツから遷移可能とする



2. モビリティデータの取得と活用

- (1)事業者向け活用策:「一括サポート手配」のログデータを取得し、事業者のバリアフリー施策で活用可能にする。
(例:人員/車両配置/サポート対応/宿泊施設の販売プラン[ソフト面]、施設改修の優先度付け[ハード面])
- (2)自治体向け活用策:「ユニバーサル地図/ナビ」のログデータを取得し、自治体のバリアフリー施策(観光、まちづくり、防災等、ソフト&ハード両面の整備の優先度付け等)で活用可能にする。
- (3)お客さま向け活用策:「ユニバーサル地図/ナビ」を導入しているエリアのGTFSを取得し、当該エリアのバス・路面電車の低床車両の位置を地図上で可視化、移動躊躇層の徒歩移動と交通をシームレスに繋ぐことで、「地域の足」「観光の足」確保による周遊促進やオーバートゥリズム対策として活用可能にする。

3. エンドコンテンツとの連携

- (1)一括サポート手配 ……移動躊躇層向けの宿泊手配、観光ガイド手配の対象事業者を増やすべくUI/UXを見直す
- (2)ユニバーサル地図/ナビ……他MaaSや観光地へ提供、利用シーン拡大(観光イベント、防災等に活用)

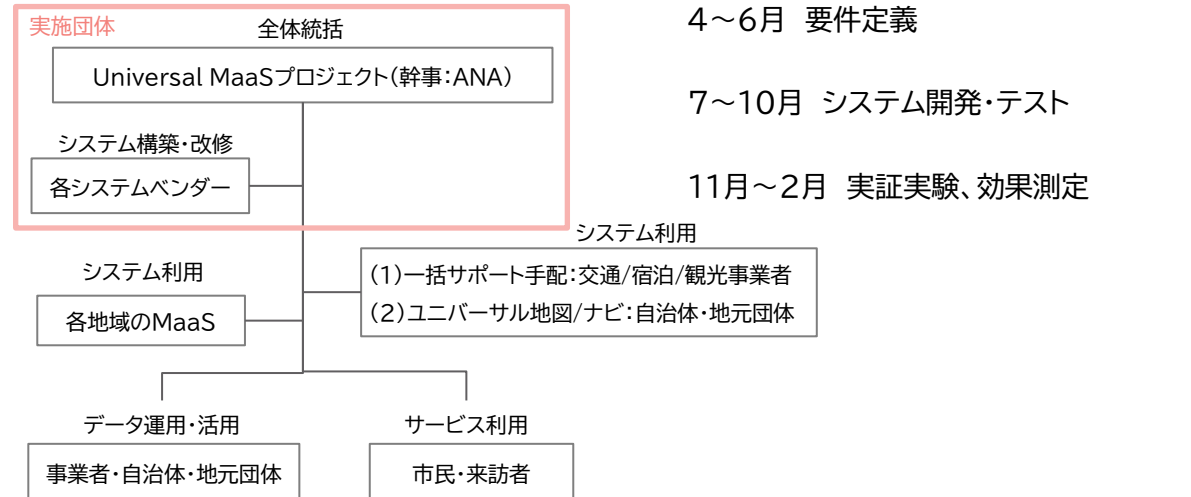
効果

- 各事業者・地域のサービスが接続インターフェースを介してUniversal MaaSと繋がることで、広域かつユニバーサルなMaaSプラットフォームが構築される
- 移動躊躇層の移動データを用いたバリアフリー施策が、自治体や事業者にて可能となり、ソフト及びハード両面でのバリアフリー整備や移動需要喚起に繋がる

事業の新規性

- 各事業者・地域のサービス向けに、Universal MaaSの接続インターフェースを構築することで、全国のMaaSへユニバーサルなサービスが提供可能となる
- 移動躊躇層の移動データを事業者及び自治体に提供することで、上記データに基づくバリアフリー施策等の立案が可能となる

事業エリア/交通事業	エリア:横須賀市、札幌市、旭川市、千歳観光連盟、松山市、台東区、渋谷区、太宰府市、長崎県、静岡県 事業者:航空:ANA、他 / 鉄道:JR九州、他 / 宿泊:新規100施設(目標) / その他、既存の産学官連携パートナーを想定
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSプラットフォーム: Universal MaaS⇄他MaaS(九州MaaS等) ● フロントエンド:スクラッチ開発 ● 経路検索:駅すばあと(交通)、いつもNAVI(徒歩)をベースにスクラッチ開発 ● 介助手配サービス:「一括サポート手配」 ● バリアフリーマップ:「ユニバーサル地図/ナビ」 ● ダッシュボードシステム:スクラッチ開発(予定)
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法:「一括サポート手配」「ユニバーサル地図/ナビ」のログデータや「ユニバーサル地図/ナビ」導入エリアのGTFSを取得 ■ データの活用方法:以下のモビリティデータをもとに事業者・自治体のバリアフリー施策に活用 <ul style="list-style-type: none"> ・「一括サポート手配」……手配数(鉄道は乗降数も)、移動躊躇層のODデータ、サポート情報等 ・「ユニバーサル地図/ナビ」……移動躊躇層の徒歩ODデータ、バリアフリースポット情報閲覧データ等
座組	スケジュール



課題

県土が広い新潟県において、県内高速バスネットワークは県内主要都市間を結ぶ重要な移動手段である一方、利用者減少や採算性低下等により減便・廃止が進み、利便性が低下している。このまま利便性を低下させるとさらなる利用者減少やネットワーク縮小に繋がる悪循環に陥ることが懸念される。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 上越線沿線において、高速バス車内や停留所において、QRコードをスマホで読み取り、専用フォームから到着バス停でのタクシーを事前に手配できるサービスを提供する。
- 上越線沿線を含む、県内高速バス沿線において、企画乗車券や沿線シェアモビリティ等二次交通の情報発信に取り組み、高速バス及び二次交通の利用促進を図る。

[モビリティ・データの取得と活用]

- 本事業で把握できたタクシー利用者の利用時間や目的地などを分析することで、高速バスとタクシーを乗り継ぐ利用者のニーズを把握し、利用促進策やカーシェアやシェアサイクルなど、タクシー以外の二次交通整備につなげる。
- MaaSサービスを活用した企画乗車券に取り組み、バス利用者の属性分析を行い、高速バス及び二次交通の利用促進を図る。

[エンドコンテンツとの連携]

- GTFS-RTのデータを活用し、バスの運行情報をタクシー事業者を共有することで、幹線交通である高速バスとその先に運行に合わせたシームレスな配車を目指す。
- 商業施設や観光施設を連携した企画乗車券に取り組み、高速バスによる移動や消費喚起を図る。

効果

- 幹線交通である県内高速バスと二次交通であるタクシー・ライドシェアといった異なる交通モードをシームレスにつなぎ、利用者にとって分かりやすい、使いやすい交通ネットワークとなることにより利便性向上・利用者増加の効果が期待される。

事業の新規性

- これまでは、高速バス利用者とタクシーはそれぞれで乗車、予約等が必要だったが、乗継特化の配車システムを活用することで、タクシー・ライドシェアといった二次交通と県内高速バスの接続を可能とする。
- 高速バスとタクシーを配車システムを活用して連携する取組は全国で初

事業エリア/交通事業

事業エリア:新潟県/

バス:新潟交通(株)、越後交通(株)、頸城自動車(株)、泉観光バス(株)、アイ・ケーアライアンス(株)
タクシー:弥彦タクシー、中越交通、つばめタクシー、相互タクシー他

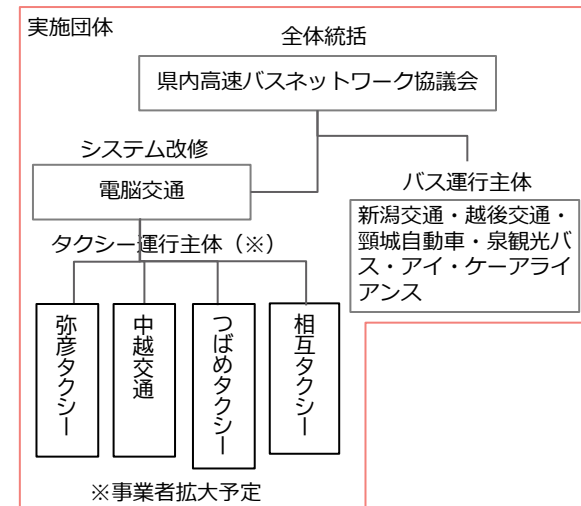
MaaSアプリ等

- 電腦交通DS(クラウド型タクシー配車システム)
- 電腦交通タクジット(タクシー手配フォーム)
- Bus vision for ときライナー
- Stera stransit又はその他乗車券アプリ

データの活用等

- データの取得方法:、バス乗降データ、タクシーの利用日時、乗車停留所、到着地(任意)
- データの活用方法:高速バスとタクシーの乗換ニーズの分析、適切な二次交通分析

座組



スケジュール

4～6月 システム改修

7～11月 実証期間

12月～2月 集計・効果測定

課題

- インバウンドなど土地勘が無かったり公共交通に不慣れな来訪者にも、分かりやすく、まちを楽しみながら移動してもらえる環境の整備が必要
- SRTの導入にともなう回遊性の向上や賑わいの拡大、公共交通利用への行動変容を把握し、今後の施策展開につなげるための効果検証が必要

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- MaaSアプリ「CentX」では、既存の名鉄・名鉄バス、名古屋市営地下鉄・バス、JR等に新たな路面公共交通「SRT」を加えて一体的に検索できる機能を追加
- SRT・名鉄・堀川クルーズをセットにした企画乗車券を販売し、QRで認証できるサービスを提供
- SRTにクレジットカードタッチ決済を導入し、上限設定による企画券も発売
- ウェブサイト、デジタルサイネージ、MaaSアプリが連携して、SRTの走行位置や混雑度を地図上でリアルタイムに発信するシステムを導入するとともに、まちの魅力を伝える動画や周辺のスポット・イベント情報、シェアサイクルポートの情報等を提供

[モビリティ・データの取得と活用]

- 決済データやAIカメラから取得するODデータ、GPS・Wi-Fiパケットセンサー等から取得する人流・属性等のデータから、SRTの利用傾向や回遊行動等の分析を行い、公共交通利用の促進やまちの賑わい創出への効果を検証

[エンドコンテンツとの連携]

- SRT車内ではGPS位置情報との連動システムにより魅力スポットの情報を提供
- SRT乗降・待合空間にベンチ等を設置し、居心地の良いウォークアブル空間に整備
- 来訪者の回遊を促すARスタンプラリーを実施し、スタンプがたまったらCentXからクーポンを発行
- SRT・名鉄と堀川クルーズ(名古屋城の入場料割引特典付き)をセットにしたデジタルチケットを造成・販売

効果

- MaaSアプリを使った企画乗車券の販売・使用データや、ARスタンプラリーへの参加者数などから、来訪者のリアルな回遊行動が取得でき、提供コンテンツの改善や新たなサービスの企画が可能となる。
- ODデータの取得により、SRTの最適な運行を検討することが可能となる。

事業の新規性

- 名古屋都心部の定時・定路線の路面公共交通としては初めてとなるクレジットカードタッチ決済、QR読み取りが可能なデジタルチケットをSRTに導入する。
- 過去に市内の路線バスで行われた社会実験ではデジタルチケットの認証を目視で行っていたが、今回、SRTでは車載器によるQR読み取りを可能とすることで、運転手の負担を軽減しつつ、利用データの確実な蓄積が可能となる。

事業エリア/交通事業

名古屋市都心部、名古屋鉄道沿線地域/
SRT(Smart Roadway Transit):東西ルート(名古屋駅～栄)
鉄道:名古屋鉄道(中部国際空港駅～名古屋駅 等)
舟運:堀川クルーズ(納屋橋～名古屋城)

MaaSアプリ等

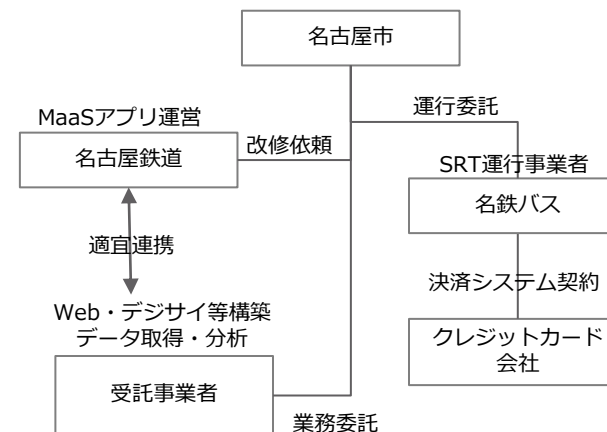
- MaaSプラットフォーム:CentX
- 経路検索機能:NAVITIME API
- クレジットカードタッチ決済:stera transit
- 走行位置表示システム:バス予報
- ODデータ取得:B-RIO
- ダッシュボードシステム:Google Analytics

データの活用等

- データの取得方法:デジタルチケット購入者属性、車内のAIカメラで取得するODデータ、GPSデータ・Wifiパケットセンサーから取得する人流データ等
- データの活用方法:SRTの導入効果を検証し、路線拡大やサービス・コンテンツの改善などに活用予定

座組

スケジュール



4～8月

・システム開発

9～10月

- ・動作検証
- ・運行前データ取得
- ・企画乗車券の造成

R7年度後半

- ・SRT運行開始
- ・各種システム開始
- ・運行後データ取得
→データ分析・検証

課題	<ul style="list-style-type: none"> 東三河地域内の交通モードの情報と目的地(おでかけ情報)が広域で連携していないため、「そこにいけるかどうか」が「正しく伝わらない」、「わからない」ことで、公共交通を使って目的地へ行くきっかけが失われている事 																		
プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 【交通サービス】…東三河全公共交通機関 検索：渥美線、市内線、豊鉄バス、東三河市町村コミュニティバス(+名鉄、JR) 手配：タクシー(豊鉄タクシー他) 決済：各種企画切符をデジタルチケット、地域コンテンツ割引クーポン <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用状況(デジタルチケット購買データや当社IC明細)による人口流動から活用検討 <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> 東三河8市町村や各市町観光協会など地域の情報を連携(掲載⇒経路検索)⇒愛知県公式観光ガイド「Aichi Now」と紐づけ(API)により情報自動取得(済) <ol style="list-style-type: none"> 東三河MaaS「いこまい」実証運用…R7.4～R8.3 地域情報掲載…地域の情報(催事、おでかけ情報、その他)を地域(市町村、観光協会等)が自らアプリにアップできる機能の追加 交通サービスの高度化…ロケーションシステムの実装(豊鉄バスナビの改装と、「いこまい」との連携)…「豊鉄バスナビ」に渥美線・市内線・豊橋市コミュニティバスを追加。東三河MaaSと連携させる。 周知宣伝…東三河地域にて当該MaaSの周知宣伝を行い利用につなげる 	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1261 354 1442 525">事業エリア/交通事業</td> <td data-bbox="1442 354 2489 525">東三河地域(豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村) / 東三河8市町村コミュニティバス、豊橋鉄道(株)、豊鉄バス(株)、豊鉄タクシー(株)、名古屋鉄道(株)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 525 1442 682">MaaSアプリ等</td> <td data-bbox="1442 525 2489 682"> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋鉄道が運営するエリア版MaaSネイティブアプリ「CentX」の機能提供を受けたMaaSアプリ(WEB版) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 682 1442 853">データの活用等</td> <td data-bbox="1442 682 2489 853"> <ul style="list-style-type: none"> データの取得方法 <ul style="list-style-type: none"> デジタルチケットは管理画面から購入者属性、購入履歴 GA4タグを埋め込み、ユーザー数、ビュー数、エンゲージメント時間を取得 データの活用方法…顧客のサイト回遊状況を把握し、利用度の高いサイトへアップデートする </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 853 1870 896">座組</td> <td data-bbox="1870 853 2489 896">スケジュール</td> </tr> </table> <div data-bbox="1360 911 1786 1386" style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px; text-align: center;">仮称：東三河MaaS推進委員会</p> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> 東三河8市町村 豊橋市・豊川市 田原市・新城市 蒲郡市・設楽町 東栄町・豊根村 </div> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">豊橋鉄道</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">愛知県 (オペザーバー)</div> </div>	事業エリア/交通事業	東三河地域(豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村) / 東三河8市町村コミュニティバス、豊橋鉄道(株)、豊鉄バス(株)、豊鉄タクシー(株)、名古屋鉄道(株)	MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋鉄道が運営するエリア版MaaSネイティブアプリ「CentX」の機能提供を受けたMaaSアプリ(WEB版) 	データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> データの取得方法 <ul style="list-style-type: none"> デジタルチケットは管理画面から購入者属性、購入履歴 GA4タグを埋め込み、ユーザー数、ビュー数、エンゲージメント時間を取得 データの活用方法…顧客のサイト回遊状況を把握し、利用度の高いサイトへアップデートする 	座組	スケジュール	<p>【通年】</p> <p>実証運用：R7.4～R8.3 東三河MaaS「いこまい」実証運用 ⇒周知宣伝</p> <p>【機能改修】</p> <p>地域情報掲載 / 交通サービスの高度化</p> <table border="1"> <tr> <td>04月</td> <td>要件定義</td> </tr> <tr> <td>04～12月</td> <td>システム開発</td> </tr> <tr> <td>01月</td> <td>実証運行</td> </tr> <tr> <td>02月</td> <td>効果測定</td> </tr> </table>	04月	要件定義	04～12月	システム開発	01月	実証運行	02月	効果測定
事業エリア/交通事業	東三河地域(豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村) / 東三河8市町村コミュニティバス、豊橋鉄道(株)、豊鉄バス(株)、豊鉄タクシー(株)、名古屋鉄道(株)																		
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋鉄道が運営するエリア版MaaSネイティブアプリ「CentX」の機能提供を受けたMaaSアプリ(WEB版) 																		
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> データの取得方法 <ul style="list-style-type: none"> デジタルチケットは管理画面から購入者属性、購入履歴 GA4タグを埋め込み、ユーザー数、ビュー数、エンゲージメント時間を取得 データの活用方法…顧客のサイト回遊状況を把握し、利用度の高いサイトへアップデートする 																		
座組	スケジュール																		
04月	要件定義																		
04～12月	システム開発																		
01月	実証運行																		
02月	効果測定																		
効果	<ul style="list-style-type: none"> ばらばらで断片的であった交通情報とお出かけ情報が連携し検索できることで、移動のハードルを下げ、公共交通利用促進へつなげる。 																		
事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> 東三河地域において、地域の旬な情報(観光・生活)と公共交通情報が連携 東三河広域の交通モード(JR/名鉄除く)のロケーションシステムの構築 東三河8市町村が連携する唯一の交通アプリ 																		

課題

- 路線バス廃止・縮小などによる二次交通の空白地帯化
- 交通手段不足による観光客回遊減少と産業の衰退
- データをもとにした需要最適化および交通にかかる人手不足

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- ①伊勢鳥羽志摩地域
シェアサイクル設置とサイクルトレイン(既存事業)およびそれらをつなぐMaaSにより幅広いサイクルツーリズムを推進する
- ②吉野地域
シェアサイクルの設置により交通空白地帯を解消する
また、一次と二次交通を直接つなげてシームレスな利用体験を目指す

[モビリティ・データの取得と活用]

- シェアサイクルにて取得したポート毎の利用回数などのデータについてBIツールの導入で継続的にグラフ等で確認できる仕組みを構築する

[エンドコンテンツとの連携]

- ①伊勢鳥羽志摩地域
MaaSシステム「ぶらりすと」上において一体的に紹介する
エリア観光パンフレットにQRコードを掲載する
- ②吉野地域
アプリ「めぐる吉野」にてシェアサイクルとともに観光情報を掲載する
近鉄WEBページにおいて観光・暮らし情報とともに掲載する
エリア観光パンフレットにQRコードを掲載する

効果

- 観光を中心とした二次交通空白地帯の解消
- 地域における回遊性向上と滞在時間・消費の拡大
- 省人化の実現およびデータの取得によるマーケティング実現

事業の新規性

- 労働力が不足する地方において、省人化を実現しながら滞在時間・経済効果を拡大するための二次交通を一次交通と連携しながら拡充する
- 自転車という移動手段の選択で、移動自体を体験コンテンツ化する

事業エリア/交通事業

行政区域:三重県伊勢市、鳥羽市、志摩市、奈良県吉野町
鉄道:近畿日本鉄道(株)山田線、鳥羽線、志摩線、吉野線
他交通事業:路線バス…三重交通(株)、船舶…志摩マリンレジャー(株)

MaaSアプリ等

【MaaS】
①伊勢鳥羽志摩地域
MaaSシステム「ぶらりすと」
②吉野地域
近鉄WEBページおよび特急車内QRコード

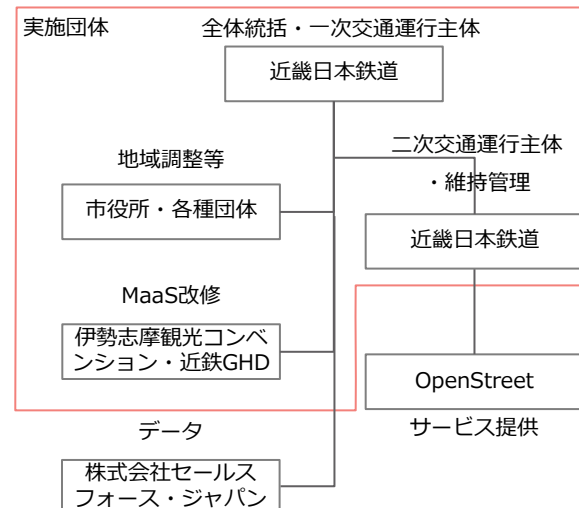
【データ分析】
・BIツール「Tableau」

データの活用等

- データの取得方法:「ぶらりすと」と近鉄WEBページおよび特急車内QRコードからの遷移数を確認、およびシェアサイクルの利用者数・利用台数・GPSヒートマップなどを収集
- データの活用方法:BIツール「Tableau」にて随時グラフ等で関係者がデータを確認する仕組みづくりを通して、閑散期や移動需要を把握し交通政策および観光誘客に活用する

座組

スケジュール



4～6月 計画作成・仕様確定

7～9月 システム改修・二次交通整備

9月末 サービスイン

2月末 効果測定

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内に存在する交通モードごとの利用が必要。 ● 域内の移動実態をデータ等で把握ができておらず、交通網再編に苦慮している。 ● 交通と観光の情報が統合されておらず、観光客に不便を強いている。 	<p>事業エリア / 交通事業</p> <p>京丹後市域(将来的な沿線地域への展開を想定) 鉄道:京都丹後鉄道、バス:丹後海陸交通、タクシー:久美浜タクシー・峰山交通・網野タクシー AIオンデマンド交通:mobi、公共ライドシェア・市営バス:京丹後市、ささえ合い交通:NPO</p>												
<p>プロジェクト概要</p>	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アプリをプラットフォームとした、鉄道・市内バス・AIオンデマンド交通・公共ライドシェア・マイクロモビリティの利用環境の向上 ↳モビリティ予約、決済 ↳マルチモーダル検索 ↳域内交通情報の提供 ● 鉄道と二次交通の接続強化 <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エリア内の鉄道、AIオンデマンド交通、公共ライドシェア、マイクロモビリティ各種システムから利用実績(ODデータ)を取得、各モビリティシステムによって収集されるデータを一元管理できるデータ分析基盤を構築。 ● ODデータ、エンドコンテンツ利用状況を活用し、市内の周遊状況を可視化。観光利用の需給に合わせた各モビリティ改善及び新モビリティへの入れ替え検討の資料として活用する。 <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域商業施設のデジタルクーポン提供、観光コンテンツの予約・決済による観光周遊の促進 ● 多言語対応(英語・繁体字)を実施しインバウンドの受け入れ拡大につなげる。 	<p>MaaS アプリ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フロントエンド:アプリ ● 経路検索機能:スクラッチ開発 ● デマンド交通配車システム:mobi ● 観光コンテンツ予約:Willシステム ● 公共ライドシェア:Willシステム・新基盤 ● ダッシュボードシステム: BIツール <p>データの活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法:mobi、Willシステムから利用者情報、鉄道及びデマンド交通、公共ライドシェアのODデータ、エンドコンテンツ利用状況の予約実績を取得 ■ データの活用方法: ODデータ、観光データをBIツール上でグラフ等で可視化し、観光施策の検討に活用。 												
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通を活用した観光客の増加による観光入込客数の底上げ ● 利用実績、ODデータによる需給の把握とニーズに沿った交通モードの再編検討に活用可能なデータの収集、施策の効果測定 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>座組</th> <th>スケジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WILLER(株)</td> <td>4月~6月 要件定義</td> </tr> <tr> <td>沿線統括 沿線交通リデザインプロジェクト</td> <td>7月~12月 システム開発・エンドコンテンツ仕入</td> </tr> <tr> <td>観光連携 海の京都DMO</td> <td>1月 実証期間</td> </tr> <tr> <td>地域交通計画連携 地域事業者調整 京丹後市</td> <td>2月 効果検証</td> </tr> <tr> <td>地域内交通事業者</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	座組	スケジュール	WILLER(株)	4月~6月 要件定義	沿線統括 沿線交通リデザインプロジェクト	7月~12月 システム開発・エンドコンテンツ仕入	観光連携 海の京都DMO	1月 実証期間	地域交通計画連携 地域事業者調整 京丹後市	2月 効果検証	地域内交通事業者	
座組	スケジュール													
WILLER(株)	4月~6月 要件定義													
沿線統括 沿線交通リデザインプロジェクト	7月~12月 システム開発・エンドコンテンツ仕入													
観光連携 海の京都DMO	1月 実証期間													
地域交通計画連携 地域事業者調整 京丹後市	2月 効果検証													
地域内交通事業者														
<p>事業の新規性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種交通モード自体がそれぞれの方法で情報提供や利用システムを提供していたが、本プロジェクトによりマルチモーダルな経路検索を実現。システムでの予約が必要なサービスは同一アプリ内での予約・決済を可能とする。 ■ エンドコンテンツの提供により、移動だけではない目的と合わせたサービス提供を実施し、公共交通の観光利用を促進する。 	<p>グループ内連携 実証運行 システム開発</p> <ul style="list-style-type: none"> WILLERTRAINS(株) Community Mobility(株) WILLER MARKETING(株) WILLERS/WILLER VTI 												

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 山口市ではマイカーでの移動に依存した状況がこのまま 続けば、負のスパイラルにより公共交通の利便性はさらに低下。 ● 公共交通による既存の輸送資源を有効活用し、利便性向上が必要(現状、山口市の特急停車駅に二次交通は整備されているが鉄道と連携した案内が不十分) 						
<p>プロジェクト概要</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MaaSアプリを用いて、経路検索、特急列車予約時の着駅の二次交通案内 ● MaaSアプリの経路検索にデマンド交通、タクシーアプリを表示させ、予約を可能とする。 <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 以下の二次交通の利用状況、デジタルチケットの販売数、MaaSアプリの経路検索・特急列車予約情報から二次交通案内ページへの流入数を測定 <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー予約数(時間帯別) (日本版ライドシェア含む) ・デマンド交通予約数 ・チケット販売数(新山口～長門市/tabitwa) <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通空白解消に向けた取組みとして、課題のある駅に対して取組みを実施していく。 ● 2026年秋に山口DCが予定されており、観光地との2次アクセスの認知度向上を図る。 ● 分析を令和9年度策定予定の山口市地域公共交通計画策定にも活用する。 </div> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">事業エリア/交通事業</td> <td> 事業エリア:山口市/ ・西日本旅客鉄道株式会社(山口線 新山口駅、湯田温泉駅、山口駅) ・富士第一交通(新山口～長門市直行便デマンドの運行事業者) ・山口市内のタクシー事業者 ・山口市内のバス事業者 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">MaaSアプリ等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● WESTER(JR西日本) ● やまぐちTAXIアプリ(REA) ● デマンド交通予約システム(JR西日本) </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">データの活用等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法 MaaSアプリからの二次交通案内ページへの流入数、タクシー予約数(時間帯別)、デマンド交通予約数 ■ データの活用方法 山口市の地域公共交通会議、地域公共交通計画策定に活用 </td> </tr> </table> </div> </div>	事業エリア/交通事業	事業エリア:山口市/ ・西日本旅客鉄道株式会社(山口線 新山口駅、湯田温泉駅、山口駅) ・富士第一交通(新山口～長門市直行便デマンドの運行事業者) ・山口市内のタクシー事業者 ・山口市内のバス事業者	MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● WESTER(JR西日本) ● やまぐちTAXIアプリ(REA) ● デマンド交通予約システム(JR西日本) 	データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法 MaaSアプリからの二次交通案内ページへの流入数、タクシー予約数(時間帯別)、デマンド交通予約数 ■ データの活用方法 山口市の地域公共交通会議、地域公共交通計画策定に活用
事業エリア/交通事業	事業エリア:山口市/ ・西日本旅客鉄道株式会社(山口線 新山口駅、湯田温泉駅、山口駅) ・富士第一交通(新山口～長門市直行便デマンドの運行事業者) ・山口市内のタクシー事業者 ・山口市内のバス事業者						
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● WESTER(JR西日本) ● やまぐちTAXIアプリ(REA) ● デマンド交通予約システム(JR西日本) 						
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法 MaaSアプリからの二次交通案内ページへの流入数、タクシー予約数(時間帯別)、デマンド交通予約数 ■ データの活用方法 山口市の地域公共交通会議、地域公共交通計画策定に活用 						
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● マイカーに頼り過ぎない交通まちづくり、公共交通機関利用者の増加。 ● 市民の地域公共交通の利用増(バスやタクシーなどの公共交通の利用頻度の向上) ● 市外の旅行者の地域公共交通利用増(タクシーアプリ、新山口～長門市直行便の利用者向上) 						
<p>事業の新規性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 山口市では、これまで、それぞれのモードごとにアプリが提供されていたが、本事業により、MaaSアプリとタクシー配車アプリを連携。 ■ MaaSアプリの経路検索からデマンド交通を予約 						

座組	スケジュール
	<p>4～6月 要件定義</p> <p>7～9月 システム開発</p> <p>10月～12月 実証運行</p> <p>1月～2月 効果測定</p>

※早期改修、設定が可能なものについては早めにサービスインも可能。

課題

- 人口減少・高齢化・担い手の不足等により、交通事業者が厳しい事業環境にある中で、地域交通ネットワークの利便性・持続性向上が求められる
- 需要が回復傾向にある観光分野における地域間競争力を向上させることが必要
- 「多様な交通モードが連携してサービスを提供できる環境・体制」、特に乗り合いタクシー、オンデマンド交通、コミュニティバスなど交通空白・移動困難地域の解消を目指すモード等との連携が不十分

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- サービスPF(MaaSアプリmy route)を活用した①ルート検索・リアルタイム情報発信の拡大、②QRを活用した新たなチケット造成、③乗り合いタクシー・AIオンデマンド交通・コミュニティ交通との連携、④エンドコンテンツと交通が一体となったサービスの提供を推進し、公共交通の利便性向上や移動需要の増加を図る。

[モビリティ・データの取得と活用]

- MaaSアプリで取得した利用者属性情報(性別、年代、居住エリア等)、購入情報(日時・頻度等)、利用情報(日時・位置等)、その他アンケート結果を活用して、商品造成、路線計画/ダイヤ作成、交通関係計画等を高度化に活用する。移動データの取得により広域な移動需要の把握や、マルチモーダルチケットの精算業務など、事業効率化を図る。

[エンドコンテンツとの連携]

- サービスPFを活用した観光地・施設の情報発信(自ら記事作成・投稿可能)、および交通がセットになったチケットの発売によって事業分野横断的な連携を実現。

効果

- 同一サービスPFを活用し各社サービスのデジタル化推進、事業分野・県境を越えた広域サービスの実現など公共交通の利便性の向上。(アプリダウンロード数・チケット発売枚数の増加)
- 交通事業者のフィジカルな連携と、MaaSのデータ利活用による持続可能な交通ネットワーク構築の取り組みを幅広く水平展開が可能。(好事例の創出・横展開)

事業の新規性

- マルチモーダルな経路検索・チケットの連携による交通空白の解消
- リアルタイムな実績確認を可能とするmy routeデータ分析システムの構築・検討
- QRのABT化より、従来にない柔軟な商品・サービスを提供・拡大
- 他エリア(九州外)のMaaSプラットフォームと連携したサービスの提供

事業エリア/交通事業

九州7県(福岡・佐賀・熊本・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
九州エリア交通関係事業者(具体名は後述)

MaaSアプリ等

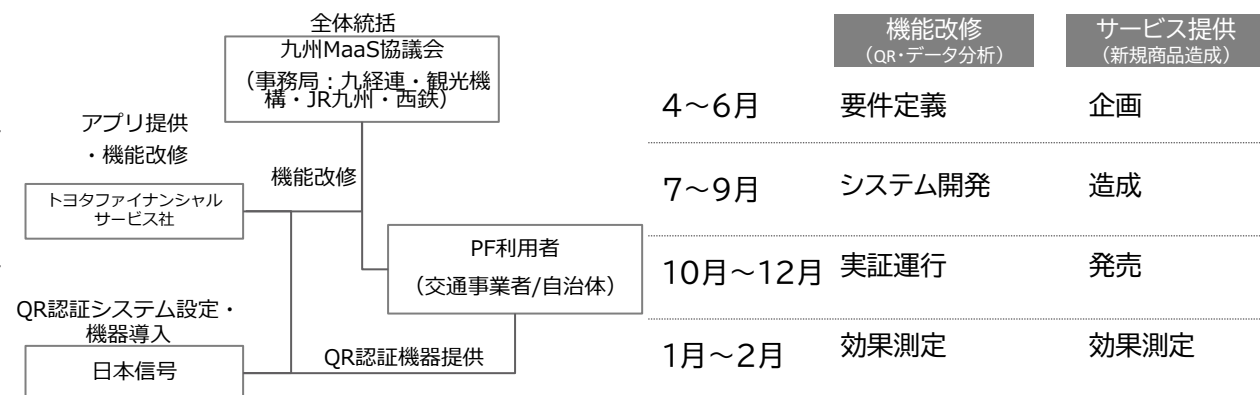
- MaaSアプリ:my route
- 経路検索機能:ナビタイム API
- 購入・利用実績ダッシュボードシステム:WebGIS(検討中)

データの活用等

- データの取得方法:MaaSアプリ操作ログ(GPS・属性情報)
- データの活用方法:購入実績データ(位置情報)を定期的に確認できる状態に可視化・集計し、事業者目線ではサービス検討・広告宣伝、自治体目線では、観光・交通関係計画の立案に活用する。

座組

スケジュール



課題

- JR線の減便や路線バスの廃線が行われ、公共交通のサービスが低下しており、現状の公共交通は、市民のニーズを救い切れておらず、自家用車頼みの現状
- 「コミュニティバス」や「デマンドバス」等が存在し、タクシードライバーが地域の足を支えているが、タクシードライバーの離職によるドライバー不足が顕在化しているため、業務効率化の施策やタクシー会社との共存施策の検討が必要である
- 宗像市は事業者単位で利用実績を受領しており、地域全体で一元化したデータ分析ができていない

プロジェクト概要

- [交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]
- 1つのアプリで「公共ライドシェア」「乗合タクシー」「一般タクシー」の配車を可能にするサービス「宗像ライドシェア(愛称:むなりんく)」の構築
- [モビリティ・データの取得と活用]
- 公共ライドシェア、一般タクシーの車載器や配車アプリ・システムからリアルタイムなデータを収集(車両データ、属性データ等)
 - 運行分析システムを構築し、移動データ、属性データを分析
(活用例)公共ライドシェアのエリア拡大再編、需要ピーク時の配車体制強化 my route(九州MaaS)と連携した観光周遊施策の立案・検討
 - マイナンバーカードを活用したモビリティ利用促進策の検討(割引クーポン等)
- [エンドコンテンツとの連携]
- my route(九州MaaS)で発券したデジタルチケットを宗像ライドシェア(愛称:むなりんく)で利用可能にすることで、観光利用を促進

効果

- ユーザー: 配車アプリによる利便性とアクセシビリティの向上
- タクシー会社: 配車アプリによる即時予約、配車受付や経路探索等の業務効率化
- 宗像市: データに基づく交通政策の立案と一元的な運行状況の把握による経理業務の効率化

事業の新規性

- 「公共ライドシェア」と多様な交通ニーズに応える「一般タクシーと乗合タクシー」の配車が可能
- マイナンバーカードを活用したモビリティ利用促進策の検討(割引クーポン等)
- 市⇄タクシー事業者の請求業務をデジタル化し、事務作業を軽減(透明性も向上)
- 横展開可能なシステム・サービス群を用意し、全国の地方都市へ展開

事業エリア/交通事業

事業エリア:宗像市全域(2025年度は岬・池野・河東・自由ヶ丘・南郷・玄海地区で実証予定)
交通事業者:新星交通、みなとタクシー、宗像グリーンタクシー、西鉄宗像タクシー

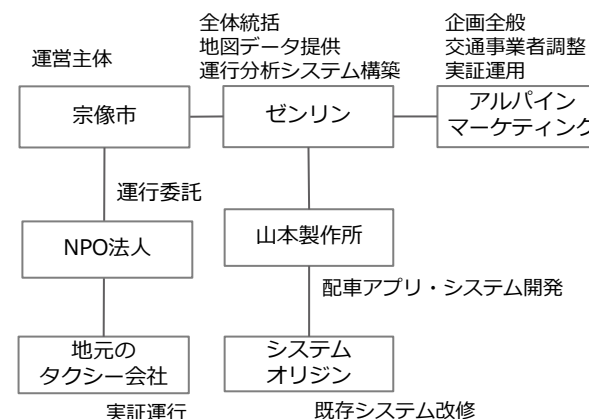
MaaSアプリ等

- オンデマンド配車予約・指示システム:ゼンリンを改造
「ZENRIN Maps API」等を利用し新規開発 ● 運行分析システム: Re:dash(既存サービス)を利用
- 配車管理システム:システムオリジン「テレハイ」を改造
 - ドライバーズアプリ:システムオリジン「みちびき」

データの活用等

- データの取得方法:公共ライドシェア、一般タクシーに車載器を設置し、車両・ドライバー・利用状況などのデータを収集
- データの活用方法:運営主体の宗像市による公共ライドシェアのエリア再編や需要ピーク時の配車体制強化、モビリティ利用促進策の検討等に活用

座組



スケジュール

- 2025年度
- [サービス開発]
- 4月～6月 タクシー配車 要件定義
- 7月～2月 公共ライドシェア実証運行
- 1月～2月 タクシー配車実証運行
- [データ分析・活用]
- 4月～6月 要件定義
- 6月～8月 データ設計・テスト
- 10月～12月 データ分析・課題抽出
- [エンドコンテンツとの連携]
- 5月 要件定義
- 6月 システム開発
- 7月～2月 my routeとのサービス連携

課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 長崎市では、高齢化や生産年齢人口の減少による地域公共交通の持続性が低下 ● 地形上、斜面地区が多数存在し、高齢に伴う外出意欲の低下による健康生活の持続性の低下懸念があり、「交通空白地」には、乗合タクシー事業を実施 ● 観光旅客の増加に伴い「携行品」の量が増加し、長崎電気軌道の利用環境が悪化 							
プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長崎電気軌道・乗合タクシーにstera transitを導入。乗車サービスの向上とMaaS基盤の構築を実施し、公共交通利用頻度の向上および事業者の持続性向上を図る <p>①生活者向けサービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全線上限運賃 ・運転免許証返納割引 ・乗合タクシー事業のキャッシュレス化 ・乗合タクシーと長崎電気軌道の連携サービス ・通勤時間帯の混雑緩和を企図した昼間時オフピーク割引 <p>②観光客向けサービスと長崎電気軌道の利用環境向上(オーバーツーリズム対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「手ぶら観光」と連携した割引策の実施による車内携行品持ち込みの抑制 ・SMCC MaaSアプリを活用した観光・商業施設連携 <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タッチ決済による交通利用と消費、観光活動をキャッシュレスデータから分析 <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長崎電気軌道の1日乗車券と沿線の観光施設、商業施設とのクーポン割による需要喚起 ● SMCC会員をAI分析し、長崎に興味有層へ「長崎周遊パス」および本件のPush配信 	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1286 354 1439 525">事業エリア/交通事業</td> <td data-bbox="1439 354 2489 525"> 事業エリア : 長崎市 交通事業 : 長崎電気軌道、乗合タクシー事業各社(住吉タクシー、新城山交通、文化タクシー、愛宕交通、ラッキー自動車) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1286 525 1439 682">MaaSアプリ等</td> <td data-bbox="1439 525 2489 682"> <ul style="list-style-type: none"> ● stera transit、SMCC MaaSアプリ </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1286 682 1439 853">データの活用等</td> <td data-bbox="1439 682 2489 853"> <ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法 : stera transit、Custella transit、JCB Data Driver ■ データの活用方法 目的:乗降データやユーザー属性・消費データの取得のため 使用するサービス:stera transit </td> </tr> </table>	事業エリア/交通事業	事業エリア : 長崎市 交通事業 : 長崎電気軌道、乗合タクシー事業各社(住吉タクシー、新城山交通、文化タクシー、愛宕交通、ラッキー自動車)	MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● stera transit、SMCC MaaSアプリ 	データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法 : stera transit、Custella transit、JCB Data Driver ■ データの活用方法 目的:乗降データやユーザー属性・消費データの取得のため 使用するサービス:stera transit
事業エリア/交通事業	事業エリア : 長崎市 交通事業 : 長崎電気軌道、乗合タクシー事業各社(住吉タクシー、新城山交通、文化タクシー、愛宕交通、ラッキー自動車)							
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● stera transit、SMCC MaaSアプリ 							
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法 : stera transit、Custella transit、JCB Data Driver ■ データの活用方法 目的:乗降データやユーザー属性・消費データの取得のため 使用するサービス:stera transit							
効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内生活者の公共交通利用頻度向上、高齢者向けサービスの充実による高齢者のお出かけ促進、観光客と市民の分散対策等による公共交通利用環境の向上 ● 移動データと消費データの見える化による施策実行可能性の向上 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1286 1029 1898 1063">座組</th> <th data-bbox="1898 1029 2489 1063">スケジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1286 1063 1898 1373"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> stera transit 長崎MaaS協議会 長崎市 長崎電気軌道 三井住友カード </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ワーキング参加企業 長崎国際観光コンベンション協会 十八親和銀行、FFGカード JCB、二モカ、西鉄エム・テック、小田原機器 QUADRAC 乗合タクシー運航事業各社 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> 沿線観光施設 沿線商業施設 </div> </div> </td> <td data-bbox="1898 1063 2489 1373"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>4月 サービス要件検討</p> <p>5月 システム開発開始</p> <p>8月 テスト環境試験</p> <p>9月 本番環境試験</p> <p>10月 実証実験開始 (実証内容を順次展開)</p> <p>2月 実証データ分析・効果測定 (10月～1月のデータを分析) 実証実験終了、報告とりまとめ</p> </div> </td> </tr> </tbody> </table>	座組	スケジュール	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> stera transit 長崎MaaS協議会 長崎市 長崎電気軌道 三井住友カード </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ワーキング参加企業 長崎国際観光コンベンション協会 十八親和銀行、FFGカード JCB、二モカ、西鉄エム・テック、小田原機器 QUADRAC 乗合タクシー運航事業各社 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> 沿線観光施設 沿線商業施設 </div> </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>4月 サービス要件検討</p> <p>5月 システム開発開始</p> <p>8月 テスト環境試験</p> <p>9月 本番環境試験</p> <p>10月 実証実験開始 (実証内容を順次展開)</p> <p>2月 実証データ分析・効果測定 (10月～1月のデータを分析) 実証実験終了、報告とりまとめ</p> </div>		
座組	スケジュール							
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> stera transit 長崎MaaS協議会 長崎市 長崎電気軌道 三井住友カード </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ワーキング参加企業 長崎国際観光コンベンション協会 十八親和銀行、FFGカード JCB、二モカ、西鉄エム・テック、小田原機器 QUADRAC 乗合タクシー運航事業各社 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> 沿線観光施設 沿線商業施設 </div> </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>4月 サービス要件検討</p> <p>5月 システム開発開始</p> <p>8月 テスト環境試験</p> <p>9月 本番環境試験</p> <p>10月 実証実験開始 (実証内容を順次展開)</p> <p>2月 実証データ分析・効果測定 (10月～1月のデータを分析) 実証実験終了、報告とりまとめ</p> </div>							
事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> ■ グローバルスタンダードであるタッチ決済機能やタッチ決済を活用した企画券によるシームレスな移動や施設利用体験の提供(民間事業者保有のモビリティデータ連携基盤を活用) ■ タッチ決済×運転免許証返納割引や手ぶら観光等のサービスをクラウド上で紐づけ ■ モビリティデータを活用して運行計画やダイヤ改修などのサービス向上、市内バスやタクシー等の二次交通の利便性向上と経営効率化を企図 							

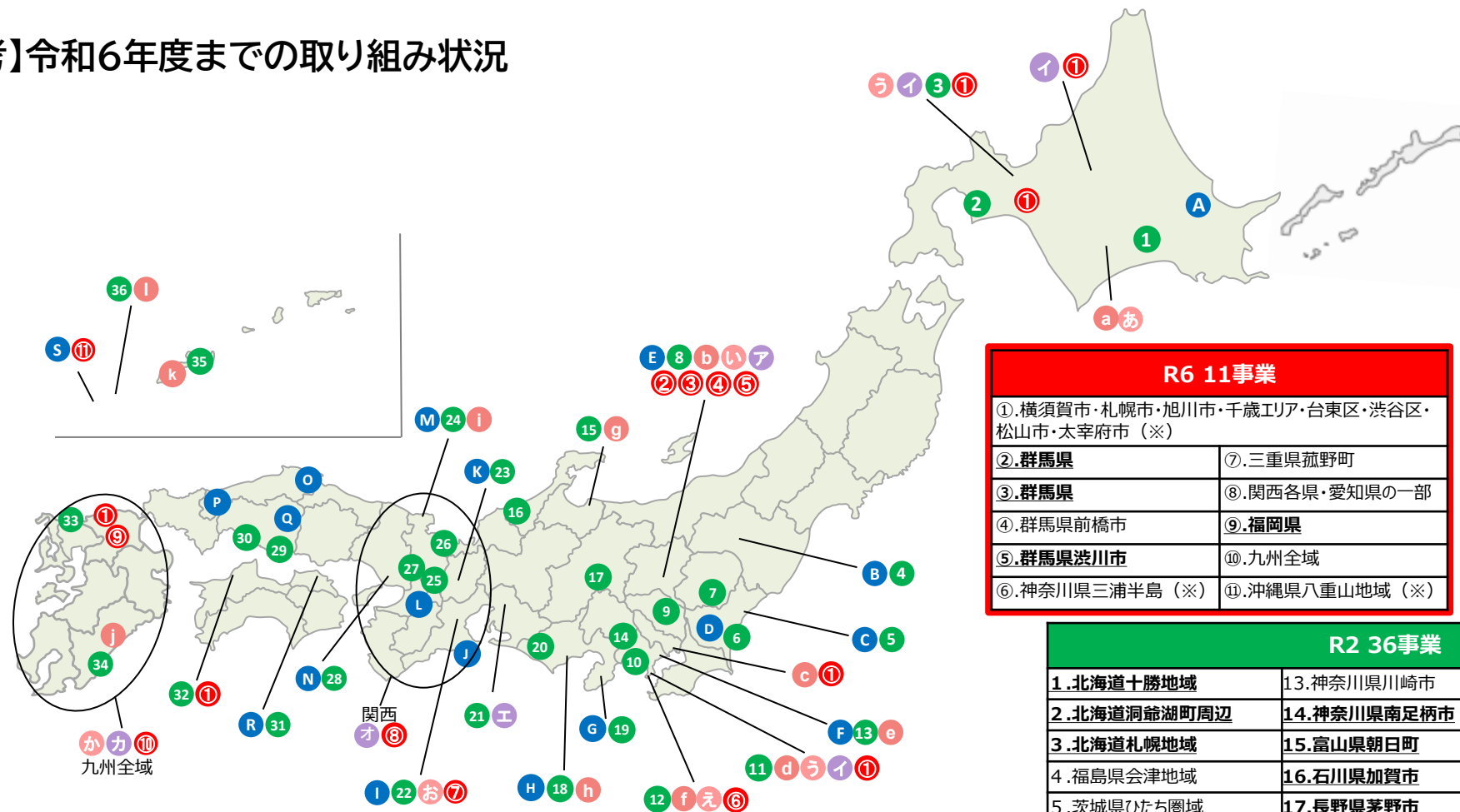
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数の乗り物があり移動が複雑な中で公共交通利用促進を全体として求められている。 ● インバウンド観光回復の本格化が見込まれるなか、公共交通機関も含めて特定時間帯や特定エリアへの需要集中を分散させる必要がある ● MaaSサービスのスマートフォン不保持利用者(近隣地域観光需要を含む)へのDX対応
----	---

プロジェクト概要	<p>[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 複雑なマルチモーダルをデジタルチケット化により公共交通へのシフトを促進し、観光アクティビティ等のフリーパス型観光MaaSの拡充を行うことで周遊・滞在・消費等の促進、満足度向上等を図る。 ● 乗降時等の認証における対応機材のバリエーションを増やし、活用推進と業務改善。 ● 上記課題を踏まえてのMaaSサービス多言語対応および、2次交通の事前予約の周知・サービス提供、予約データの事業者横断共有により需要予測と利活用。 ● スマートフォン不保持の利用者(インバウンドを含む家族旅行の未成年者や高齢者等)に対して、事前の利用者確認を前提としたQRコードを用いた乗降認証を実装。 ● ふるさと納税の返礼品としてMaaSチケットを提供することにより、訪日外国人の公共交通機関の利用と共に観光訪問先へのロイヤリティの醸成(寄付)を促進する <p>[モビリティ・データの取得と活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の属性情報毎に、実際のODデータの詳細分析による中長期の運行計画の立案、MaaSサービスの設計、観光施策立案へ活用する <p>[エンドコンテンツとの連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通に加え、レンタサイクル等の追加、また離島(竹富島、西表島、小浜島等)側の観光アクティビティの拡充による周遊・滞在・消費等の促進および、オーバーツーリズムの解消 ● 石垣市、竹富町におけるスマートフォン不保持者の「おでかけ観光」利用等へのDX対応 	事業エリア/交通事業	事業エリア:石垣市及び竹富町 バス事業者:東運輸、カリー観光、西表島交通、竹富島交通 船舶定期航路事業者:八重山観光フェリー、安栄観光、舟浮海運 観光事業者:仲間側クルーズ事業者、由布島
		MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSプラットフォーム:ジョルダンモバイルチケットサービス ● インバウンド対応に伴う利用者予約情報共有システム:フルスクラッチ開発
		データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法:2次元バーコードでの利用データについて、MaaSアプリから利用者情報、ODデータを認証機から取得 ■ データの活用方法:観光客利用データは、フリーパス型チケットの利用料金の公正な料金分配に活用、観光施策立案。地域住民利用データは、不正利用監視およびバス路線再編の検討に活用。
座組		スケジュール	

効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 離島への送客推進により、八重山圏域全体への周遊・滞在・消費等の促進を実現 ● 訪日外国人のスムーズな受け入れ体制の構築により、オーバーツーリズムによる公共交通網への混乱抑制 ● スマートフォン不保持の利用者もMaaSサービスの利用が可能となる
----	---

事業の新規性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和6年度に実施したMPM方式での公共交通利用の網羅性を高めるため、認証機材のバリエーション追加を行う ■ 観光移動需要状況把握から、事業者の運行計画への反映、地域住民への情報サービス提供を実施することで、オーバーツーリズム対策を実施 ■ フリーパス型観光MaaSで整備したQR認証方式を、スマートフォン不保持者でも利用可能な方式を導入することで、より広い利用者層へのソリューションを確立させる 	実施団体		スケジュール	4~6月 要件定義 7~10月 システム開発 11月~1月 実証運行 2月~3月 効果測定
--------	---	------	--	--------	--

【参考】令和6年度までの取り組み状況



R1 19事業	
A.ひがし北海道エリア	
B.福島県会津若松市	
C.茨城県日立市	
D.茨城県つくば市	
E.群馬県前橋市	
F.神奈川県川崎市・箱根町	
G.静岡県伊豆エリア	
H.静岡県静岡市	
I.三重県菰野町	
J.三重県志摩地域	
K.大津・比叡山	
L.京都府南山城村	
M.京丹後地域	
N.兵庫県神戸市	
O.山陰エリア（島根・鳥取）	
P.島根県大田市	
Q.広島県庄原市	
R.瀬戸内エリア	
S.沖縄県八重山地域	

R6 11事業	
①.横須賀市・札幌市・旭川市・千歳エリア・台東区・渋谷区・松山市・太宰府市（※）	
②.群馬県	⑦.三重県菰野町
③.群馬県	⑧.関西各県・愛知県の一部
④.群馬県前橋市	⑨.福岡県
⑤.群馬県渋川市	⑩.九州全域
⑥.神奈川県三浦半島（※）	⑪.沖縄県八重山地域（※）

R2 36事業		
1.北海道十勝地域	13.神奈川県川崎市	25.京都府京都市
2.北海道洞爺湖町周辺	14.神奈川県南足柄市	26.京都府舞鶴市
3.北海道札幌地域	15.富山県朝日町	27.大阪府池田市
4.福島県会津地域	16.石川県加賀市	28.兵庫県神戸市
5.茨城県ひたち圏域	17.長野県茅野市	29.広島県福山市
6.茨城県土浦市	18.静岡県静岡市	30.広島県広島市
7.栃木県宇都宮市	19.静岡県伊豆半島	31.香川県高松市
8.群馬県前橋市	20.静岡県浜松市	32.愛媛県南予地域・松山市
9.埼玉県三芳町	21.愛知県春日井市	33.福岡県糸島市
10.神奈川県横浜市周辺	22.三重県菰野町	34.宮崎県宮崎市・日南市
11.神奈川県横須賀市周辺	23.滋賀県大津市	35.沖縄県全域
12.神奈川県三浦半島	24.京都府京丹後市	36.沖縄県宮古島市

R5 6事業
ア.群馬県前橋市
イ.札幌市・旭川市・横須賀市
ウ.三重県菰野町
エ.愛知県春日井市
オ.関西全域、愛知県の一部
カ.九州全域

R4 6事業
あ.北海道芽室町
い.群馬県前橋市
う.神奈川県横須賀市、他
え.神奈川県三浦半島
お.三重県菰野町
か.九州全域

R3 12事業	
a.北海道芽室町	g.富山県朝日町
b.群馬県前橋市	h.静岡県静岡市
c.東京都大丸有地区	i.京都府与謝野町
d.山手線周辺/横須賀市	j.宮崎県
e.川崎市、箱根町	k.沖縄県
f.神奈川県三浦半島	l.沖縄県宮古島市

下線部事業は、各年度新規事業 / (※)は、観光促進型で採択